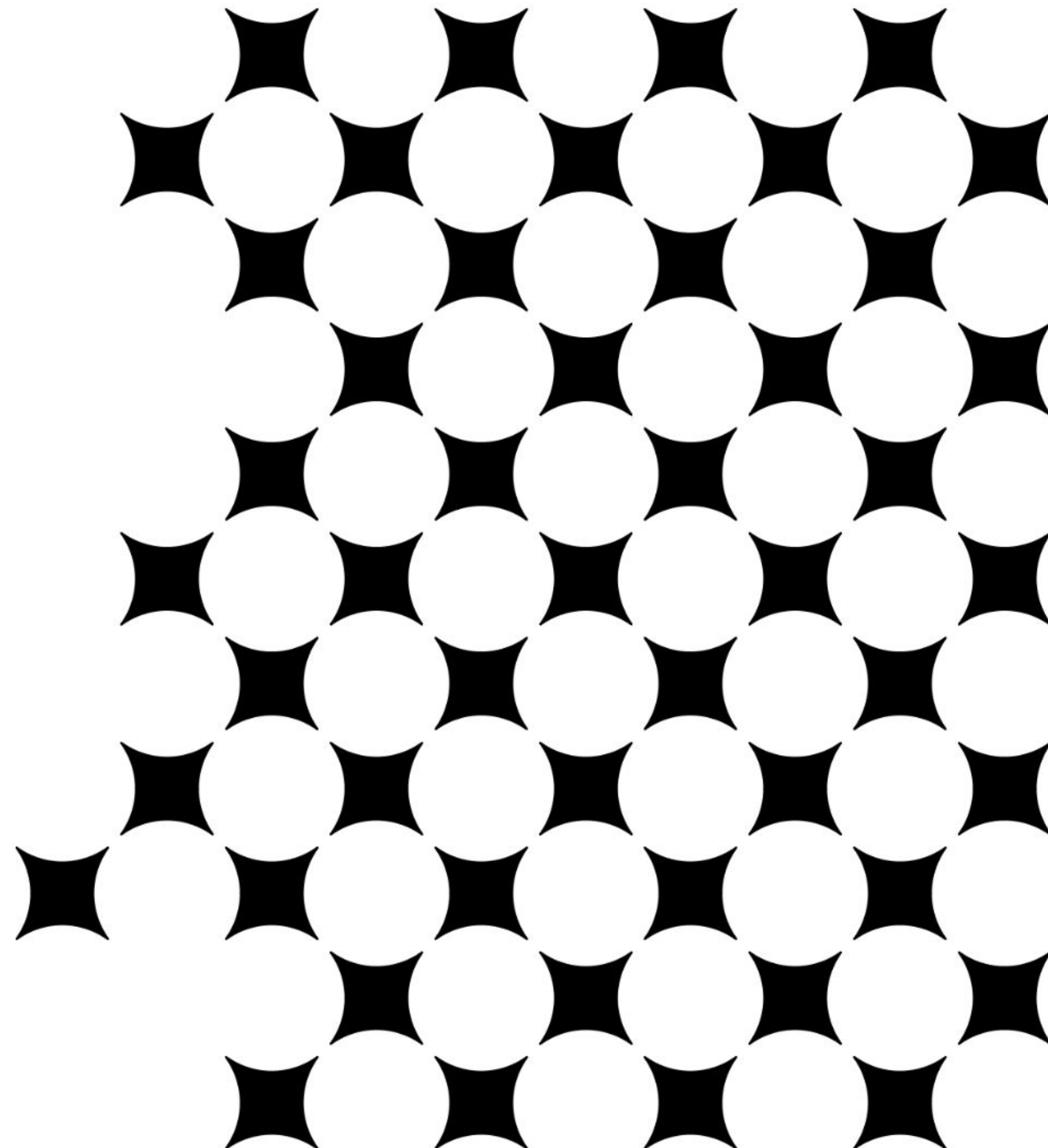
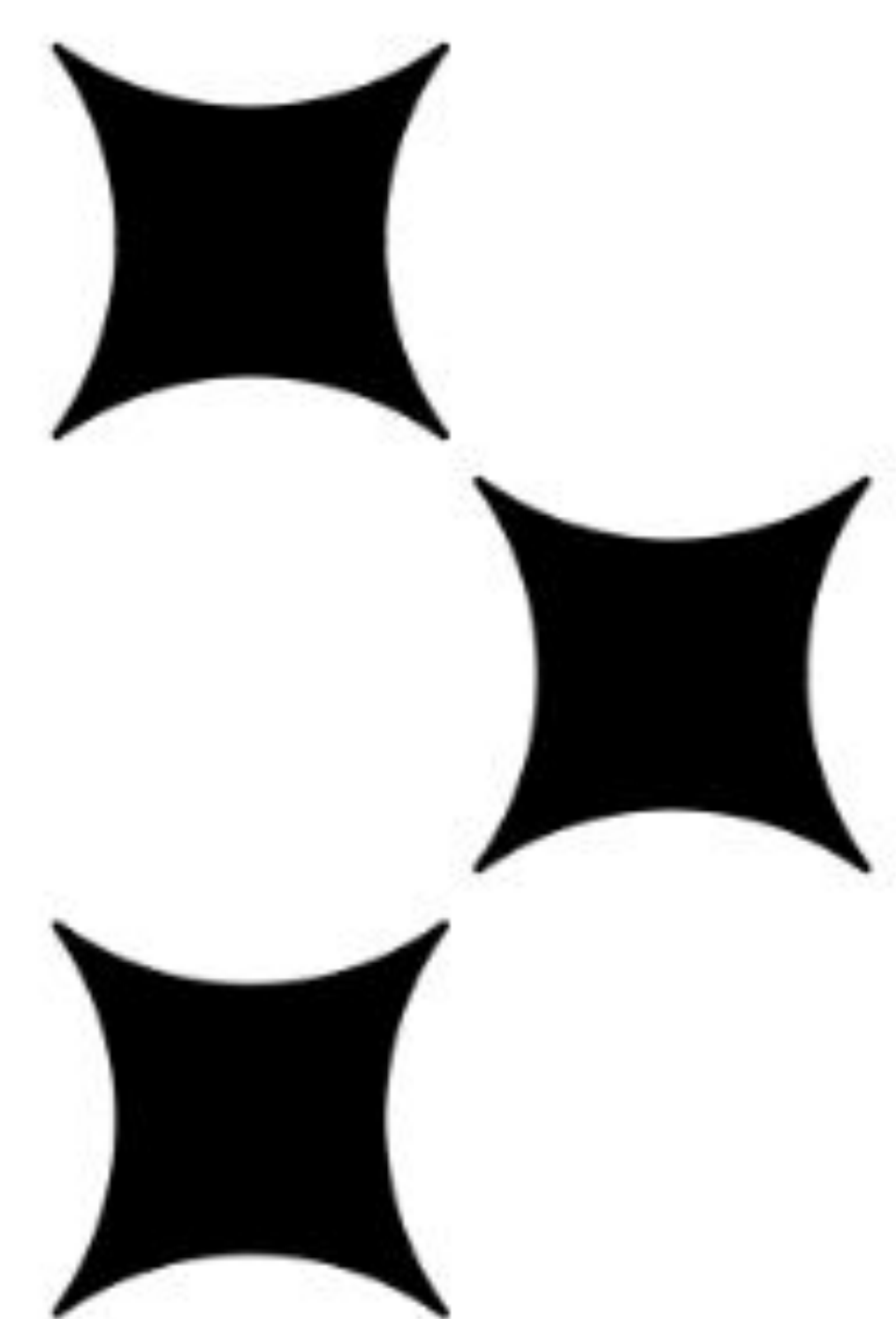


# 2023年9月期 通期決算説明資料

HENNGE株式会社(東証グロース : 4475)  
2023年11月10日



# 目次

1. 2023年9月期 通期決算
2. 2024年9月期 通期業績見通し
3. 成長戦略
4. 補足資料
  - ├ 会社概要
  - ├ 市場規模
  - └ その他
5. 過去開示参考資料

**2023年9月期**  
(2022年10月～2023年9月)

**通期決算**  
**(業績)**

## 連結業績サマリー (対前年同期比、12か月累計比較)

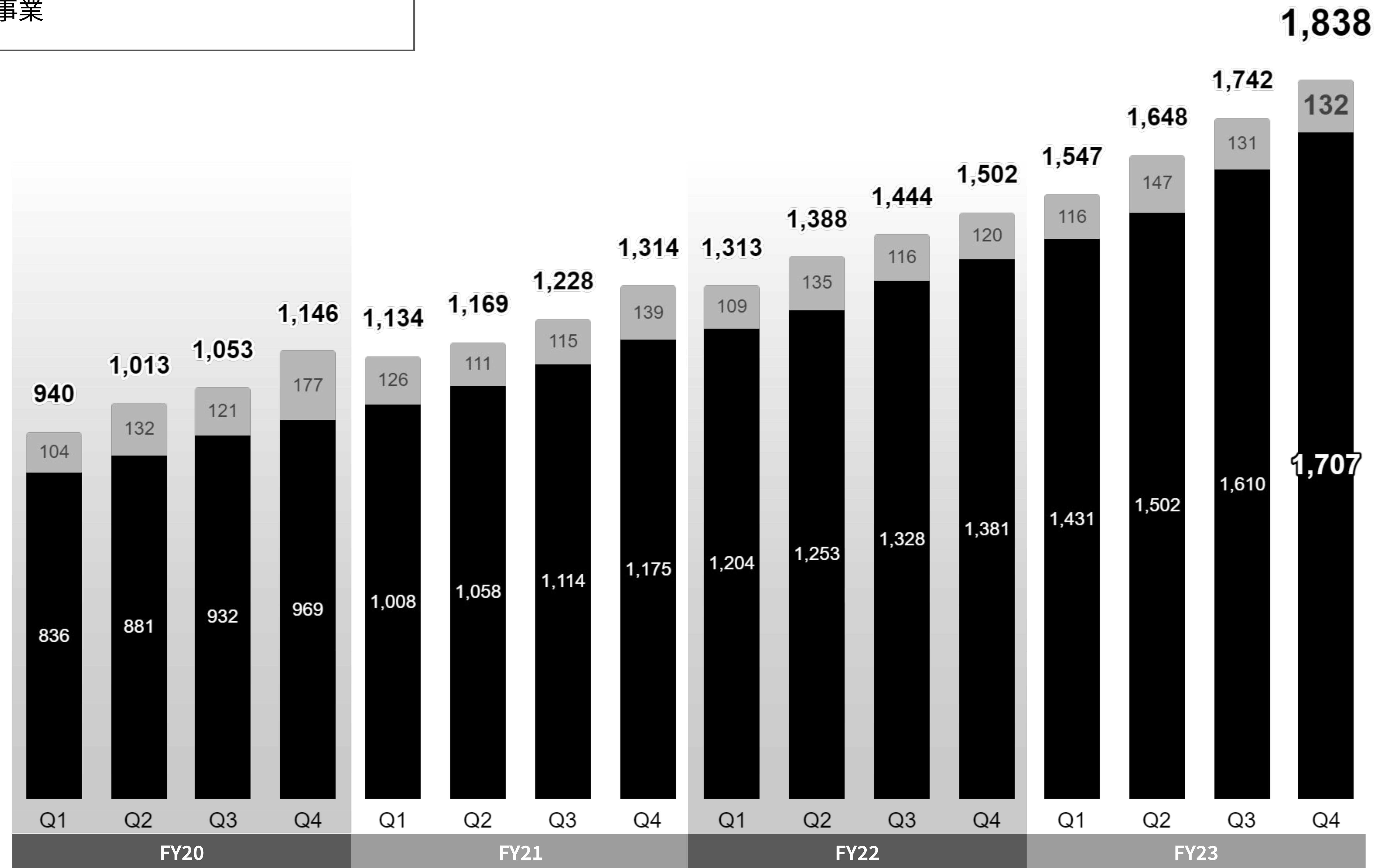
(単位:百万円)	FY2022	FY2023	増減額	増減率(%)	FY2023 通期業績予想	進捗率(%)
<b>売上高</b>	5,646	<b>6,776</b>	+1,129	+20.0%	6,725	100.8%
うちHENNGE One事業	5,166	<b>6,250</b>	+1,084	+21.0%	6,234	100.3%
うちプロフェッショナル・サービス及びその他事業	480	526	+46	+9.5%	491	107.0%
売上原価	874	<b>1,098</b>	+224	+25.6%		
<b>売上総利益</b>	4,772	<b>5,677</b>	+906	+19.0%		
(売上総利益率)	(84.5%)	(83.8%)		(-0.7pt)		
販売費及び一般管理費	4,309	<b>4,970</b>	+660	+15.3%		
<b>営業利益</b>	462	<b>708</b>	+245	+53.1%	561	126.2%
(営業利益率)	(8.2%)	(10.4%)		(+2.3pt)	(8.3%)	
<b>経常利益</b>	452	<b>713</b>	+261	+57.7%	561	127.1%
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	321	<b>509</b>	+188	+58.4%	353	144.0%
(当期純利益率)	(5.7%)	(7.5%)		(+1.8pt)	(5.3%)	

1. 売上高は、前年同期比**20.0%増**の**67.8億円**、HENNGE Oneの売上高は、同比**21.0%増**の**62.5億円**
2. 販売費及び一般管理費は、同比**15.3%増(6.6億円増)**の**49.7億円**
3. 親会社株主に帰属する当期純利益は、同比**1.9億円増**の**5.1億円**

# 売上高の推移

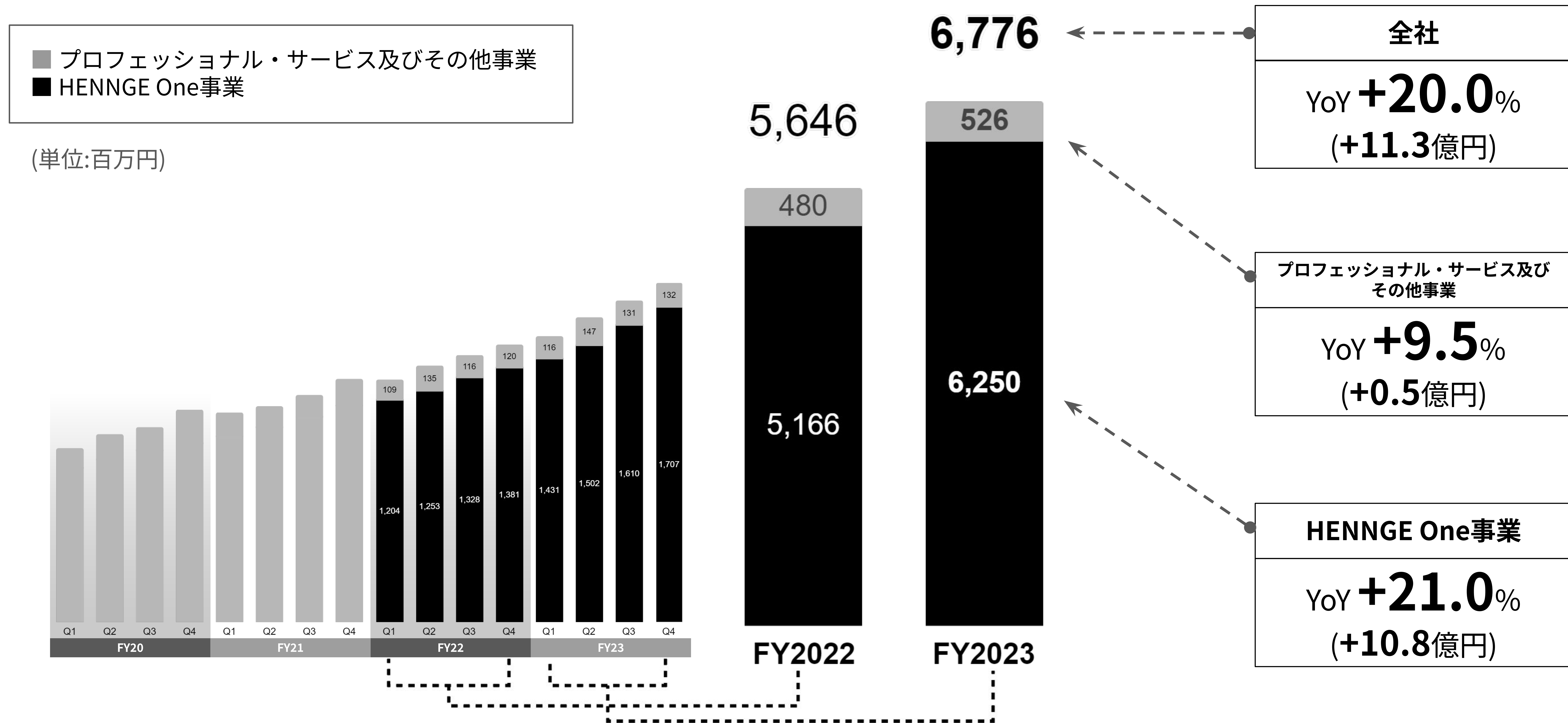
■ プロフェッショナル・サービス及びその他事業  
■ HENNGE One事業

(単位:百万円)

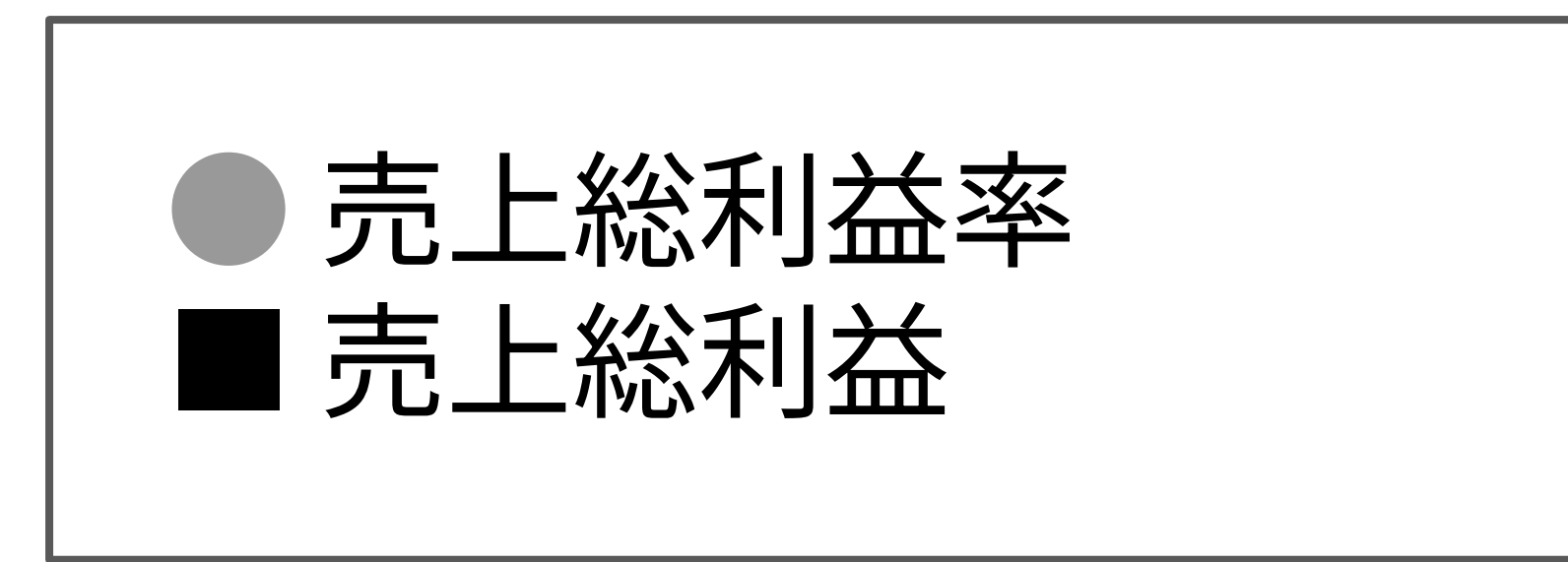


# 売上高 (対前年同期比、12か月累計比較)

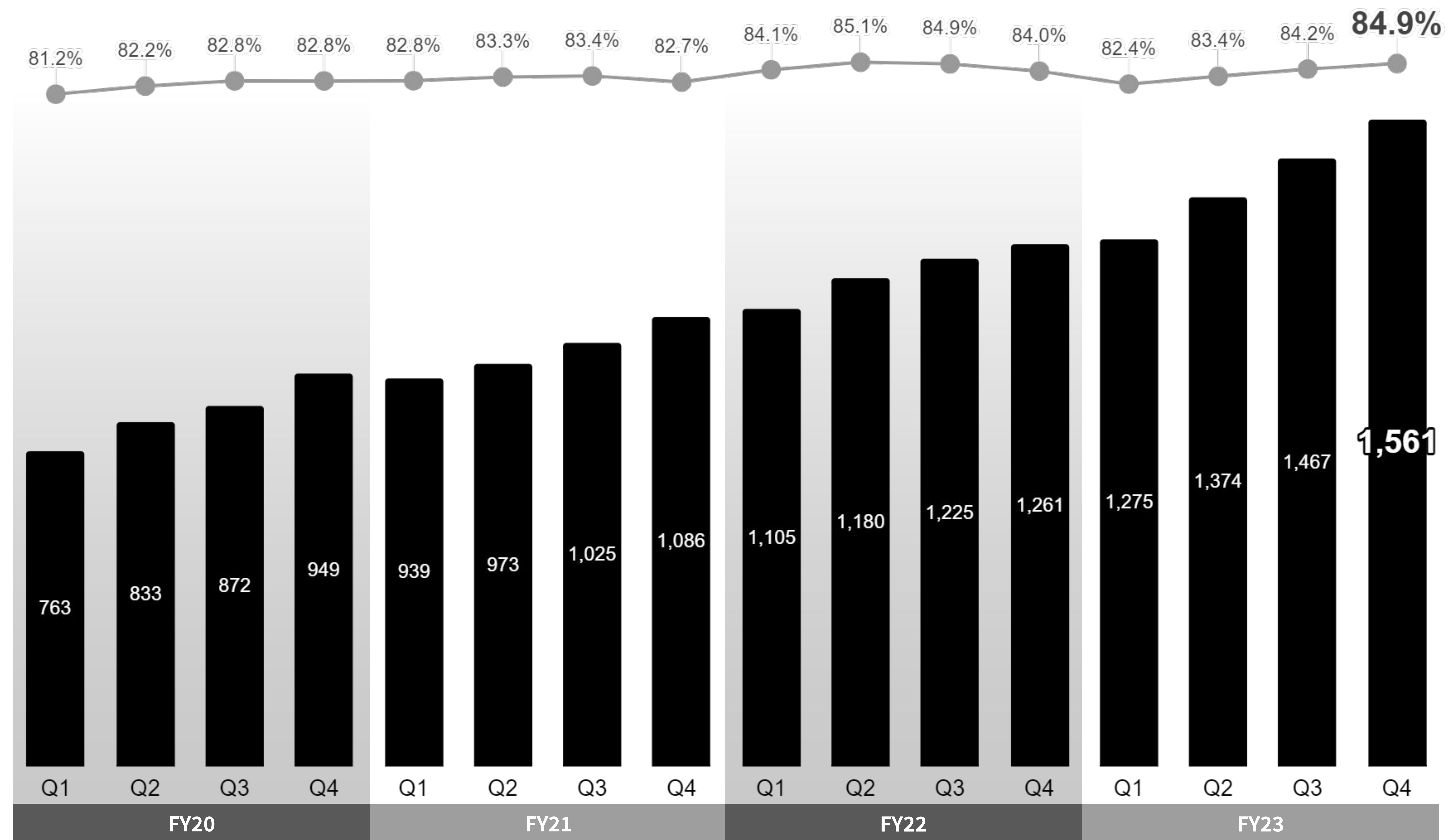
売上高は、前年同期比20.0%増の67.8億円  
 売上成長のドライバーとなるHENNGE Oneの売上高は同比21.0%増で成長



# 売上総利益の推移

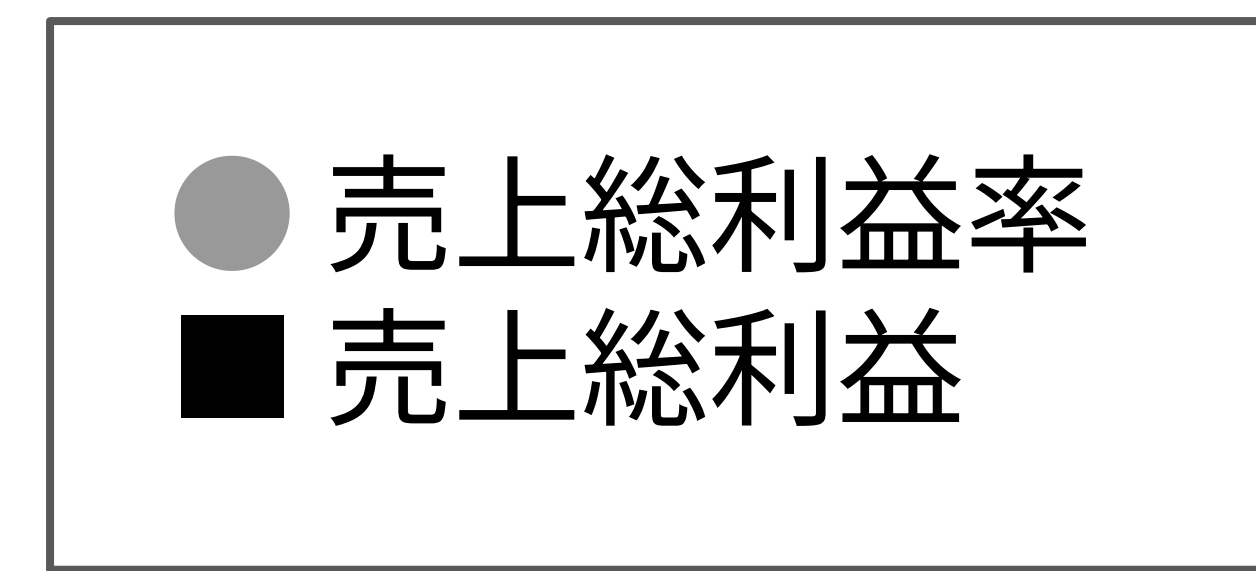


(単位:百万円)

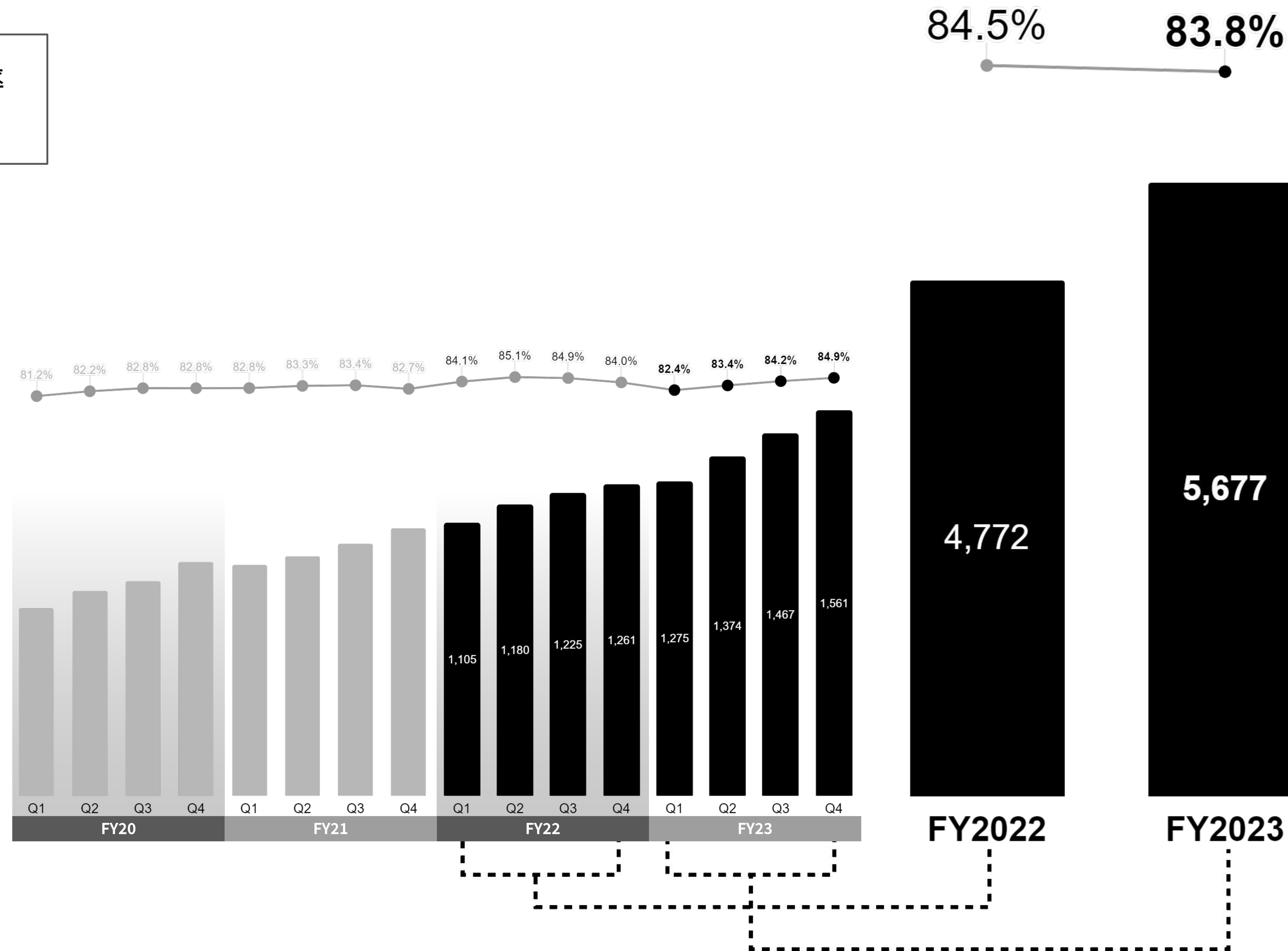


# 売上総利益 (対前年同期比、12か月累計比較)

売上総利益は、前年同期比9.1億円増加の56.8億円  
 売上総利益率は、前年同期から0.7ポイント減の83.8%、依然として高い粗利率を維持



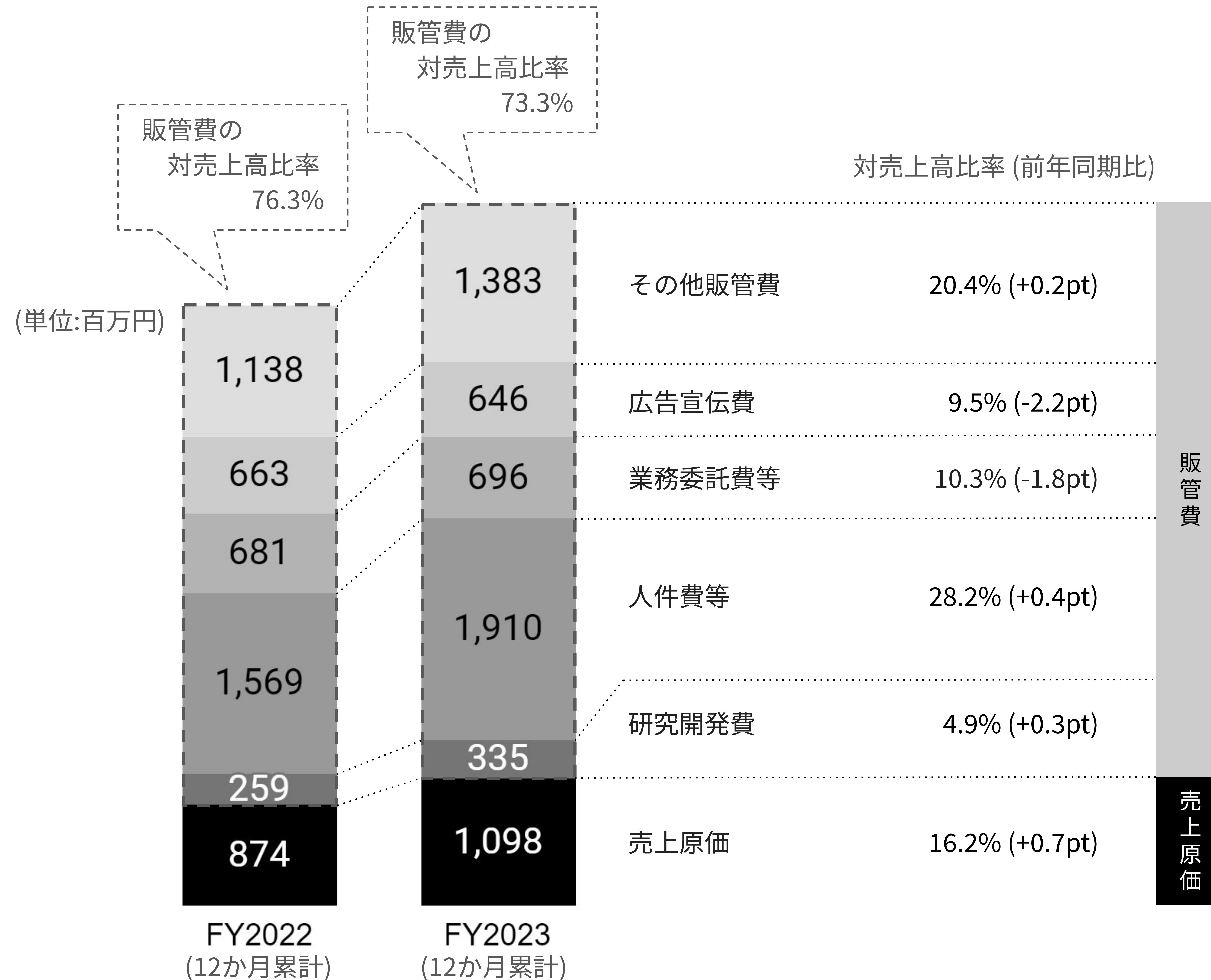
(単位:百万円)



**売上総利益**  
 YoY **+19.0%**  
 (+9.1億円)



# 営業費用の構造 (対前年同期比、12か月累計比較)



**その他販管費**は、積極的な採用活動の実施や、人員増に伴う社内システムの利用料等の増加等により、前年同期比で増加いたしました。

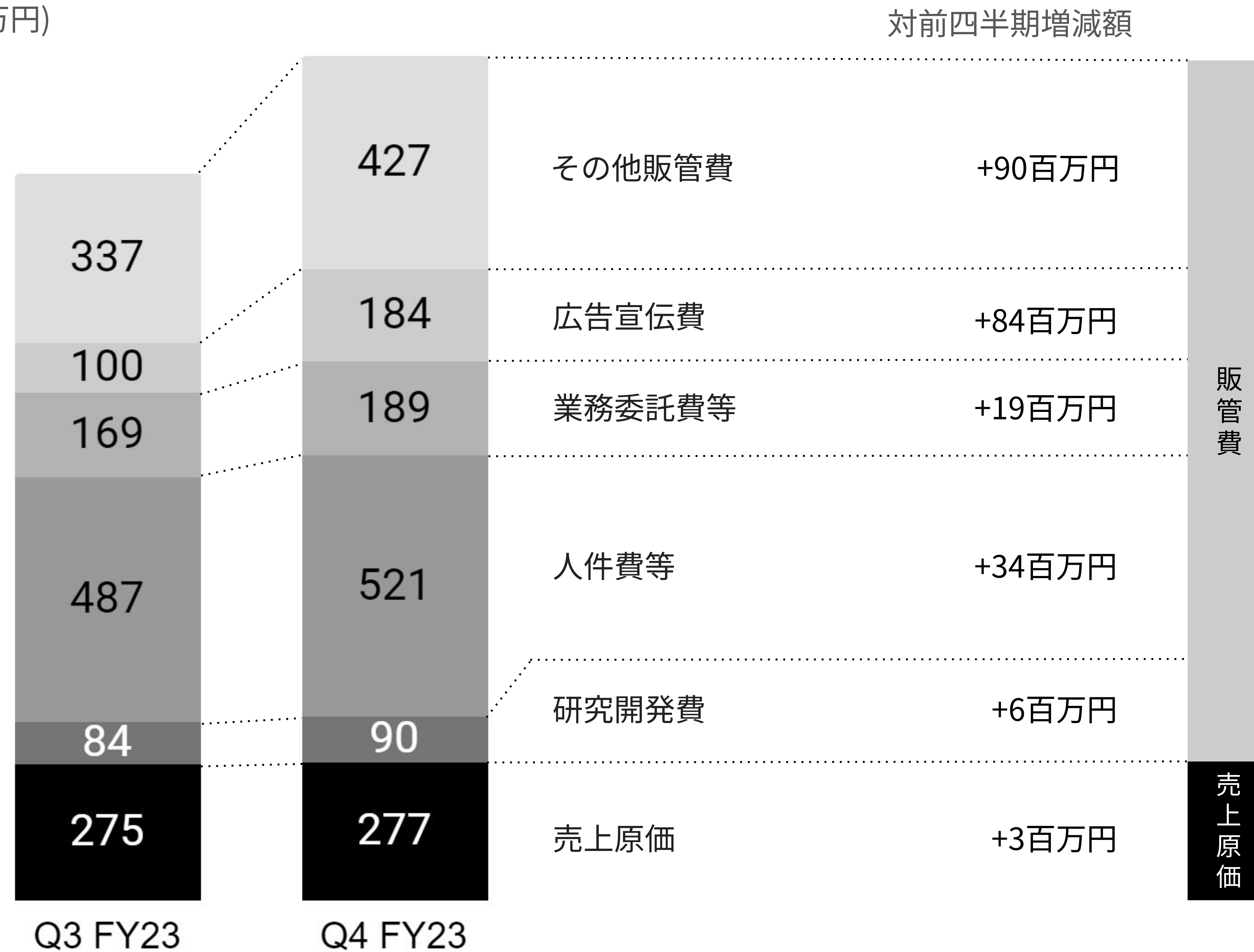
**広告宣伝費**は、大手企業、販売パートナー、新規顧客、既存顧客等をターゲットにした、HENNGE NOW!を始めとした多様なイベント・セミナーを実施しましたが、前期とは手法が異なったことから、前年同期比で微減いたしました。

**人件費等**は、主に人員増に加え、2022年7月より給与にかかる社内制度の見直しを実施し給与水準を引き上げたこと等に伴い、前年同期比で増加いたしました。

**売上原価率**は、開発人員の増加や為替の影響等によるHENNGE Oneのインフラコスト増加等の影響はあったものの、**16.2%**と低い水準を維持しており、顧客獲得コスト等を積極的に投下できる構造となっております。

# 営業費用の構造 (対前四半期比)

(単位:百万円)

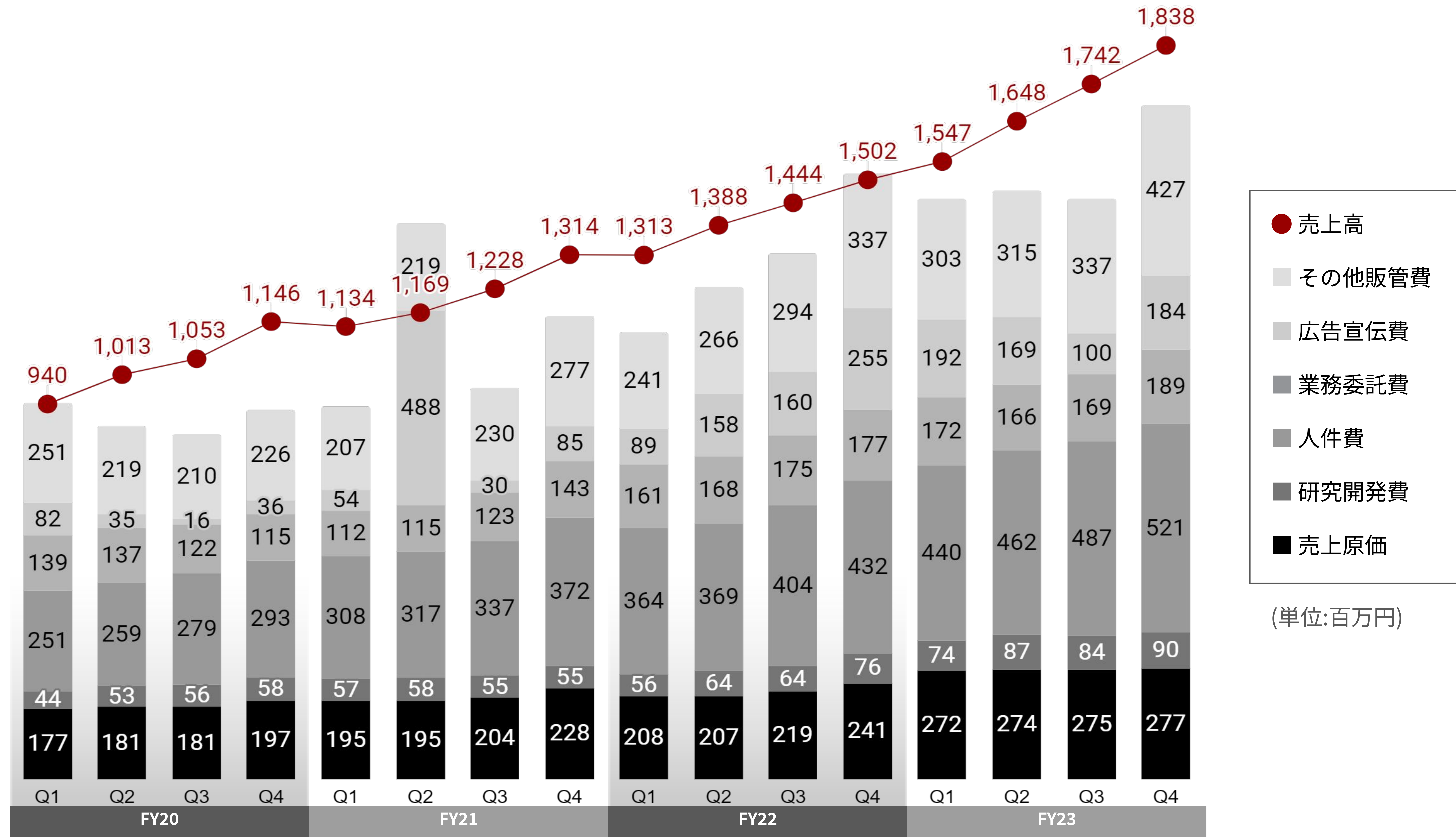


**その他販管費**は、主に積極的な採用活動や対面での活動の増加等により、前四半期比で増加いたしました。

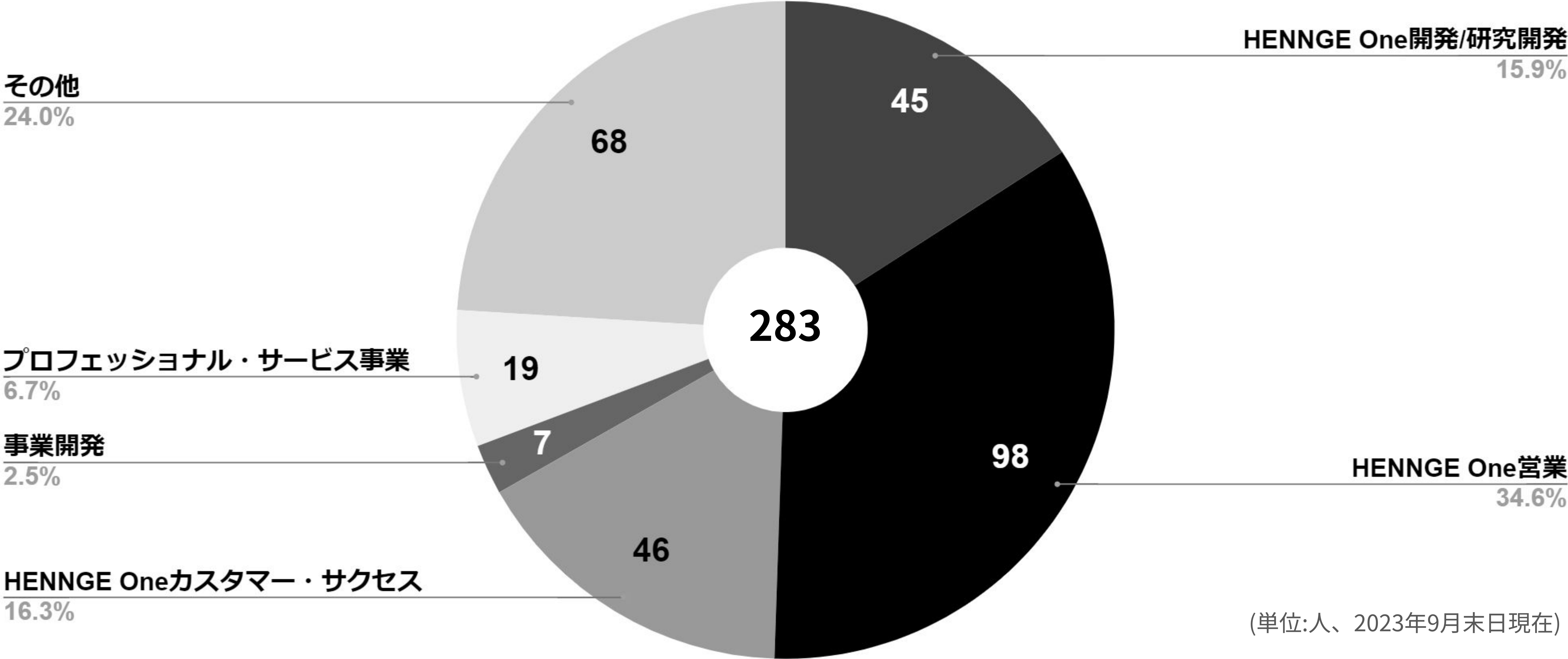
**広告宣伝費**は、当四半期においても、多様なイベントやセミナーへの出展や登壇をするとともに、交通広告等を積極的に実施した結果、前四半期比で増加いたしました。

**人件費等**については、人員の増強が進んだこと及び2023年4月の営業職手当の導入等の結果、前四半期比で増加しました。

# 売上高と営業費用の推移



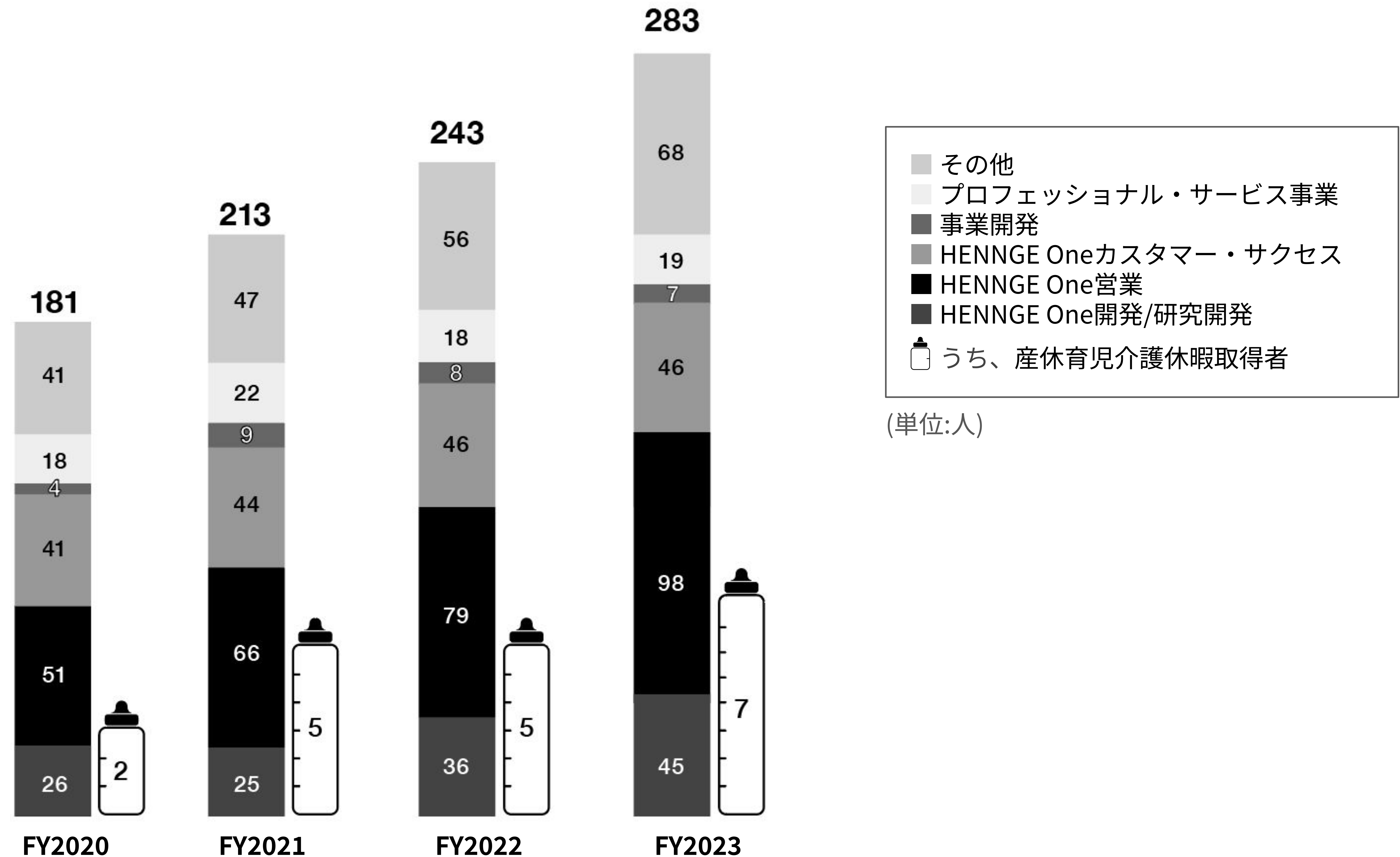
# 従業員(アルバイトを含まず)の構成



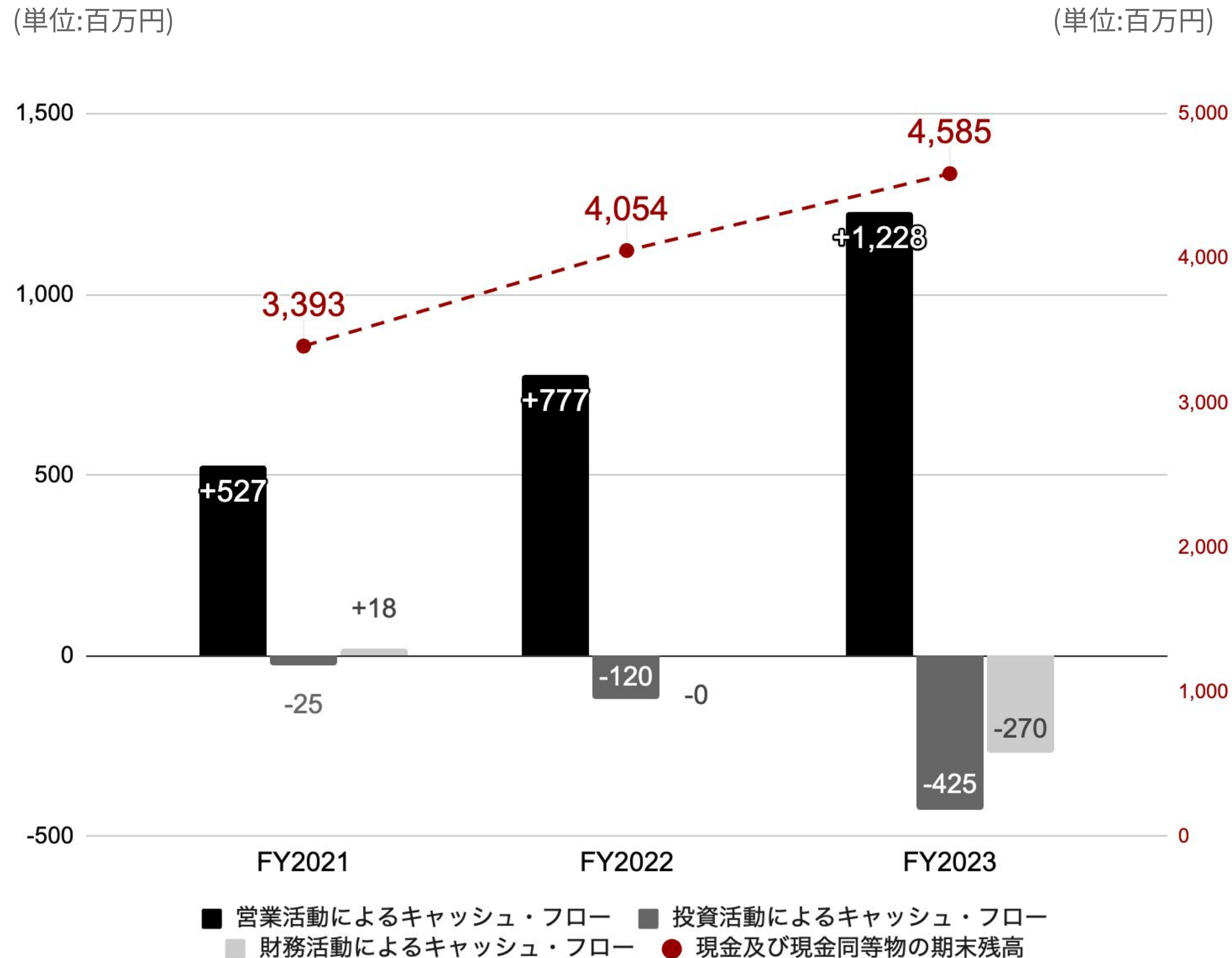
(単位:人、2023年9月末日現在)

# 従業員(アルバイトを含まず)の推移と構成

重点項目としておりましたIT営業経験者の採用が概ね順調に推移し、全社で前期末比40名の純増



# キャッシュ・フローの状況 (対前年同期比、12か月累計比較)



## 営業キャッシュ・フロー

収入の多くがHENNGE Oneの前払から構成されており、前年よりも契約実績が増えていること等により、前年同期比4.5億円の増加となりました。

## 投資キャッシュ・フロー

主に新規事業投資を実施したこと、人員増に伴いオフィスの一部を改修したこと等により、前年同期比で3.1億円の減少となりました。

## 財務キャッシュ・フロー

株式報酬制度の割当原資として自己株式を取得したことにより、前年同期比で2.7億円の減少となりました。

# 2023年9月期

(2022年10月～2023年9月)

# 通期決算 (事業)

# 事業トピックス

- **広告・イベント**

- 「Japan IT Week 名古屋」等、大阪・名古屋・福岡での出展、登壇 (2023年7月～9月)
- 「ITリーダーズ・ラウンドテーブル」を大阪で開催 (2023年8月)
- 各種イベントの主催、出展、共催、登壇等 (2023年7月～9月)

- **その他**

- 株式会社kickflowとの資本業務提携 (2023年8月～)  
クラウドワークフロー「kickflow」を提供するkickflow社へ業務提携を前提とした追加出資
- 2024年4月以降のHENNGE One 価格改定のお知らせ (2023年8月)



# 第4四半期の広告宣伝活動について

第4四半期も期初計画に沿って、イベント出展、羽田空港での広告等、多層的な広告宣伝活動を実施

## 「Japan IT Week 名古屋」出展 (2023年7月)



## 交通広告等 (2023年9月)



# HENNGE One価格改定について

2024年4月以降のHENNGE Oneのライセンス体系を一部改定予定

セットプラン	概要	従来価格(税別)	新価格(税別)
HENNGE One Basic	HENNGE Oneの機能をまとめて導入する際にお得なセットプラン (証明書やLock Plus、Cloud Protectionなどの利用制限あり)	@600円/月	@800円/月
HENNGE One Pro		@1,000円/月	

単機能プラン	概要	従来価格(税別)	新価格(税別)
HENNGE IdP Lite	SSO/IPアドレス制御/OTP/AD連携など	@150円/月	廃止 (HENNGE IdPへ移行)
HENNGE IdP	Lite機能/デバイス証明書/Support Plus/Lock Plusなど	@300円/月	
HENNGE IdP Pro	IdP/セキュアブラウザ/デバイス証明書追加など	@500円/月	
HENNGE DLP	一時保留/フィルタリングなど	@300円/月	@350円/月
HENNGE ARC	アーカイブなど	@300円/月	@350円/月
HENNGE Cloud Protection	振る舞い検知/サンドボックスなど	@200円/月	

# 2023年9月期

(2022年10月～2023年9月)

# 通期決算 (KPI)

## HENNGE One KPIのハイライト (対前期末比、12か月進捗)

契約企業数 (N)

**2,610**社  
前期末から **397社増加**

契約ユーザ数

**238.1**万人  
前期末から **5.6万人増加**

ARR

**69.3**億円  
前期末から **13.3億円増加**

ARPU

**2,910**円  
前期末から **501円増加**

平均ユーザ数 (n)

**912**人  
前期末から **138人減少**

直近12か月の平均月次解約率

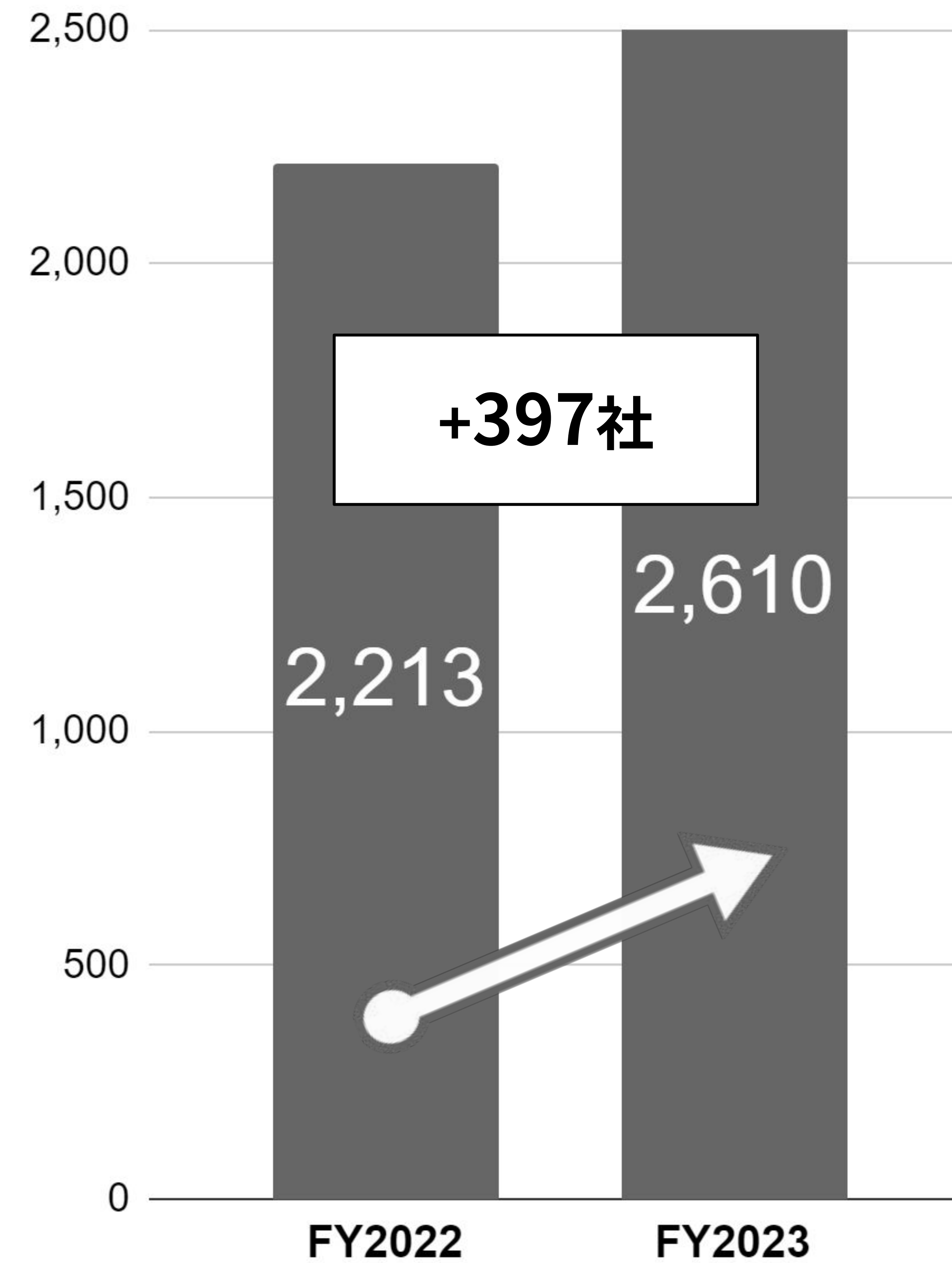
**0.27**%  
前期末から **0.06pt上昇**

# HENNGE One KPI (対前年同期末比)

## 契約企業数 (N)

YoY **+17.9%**

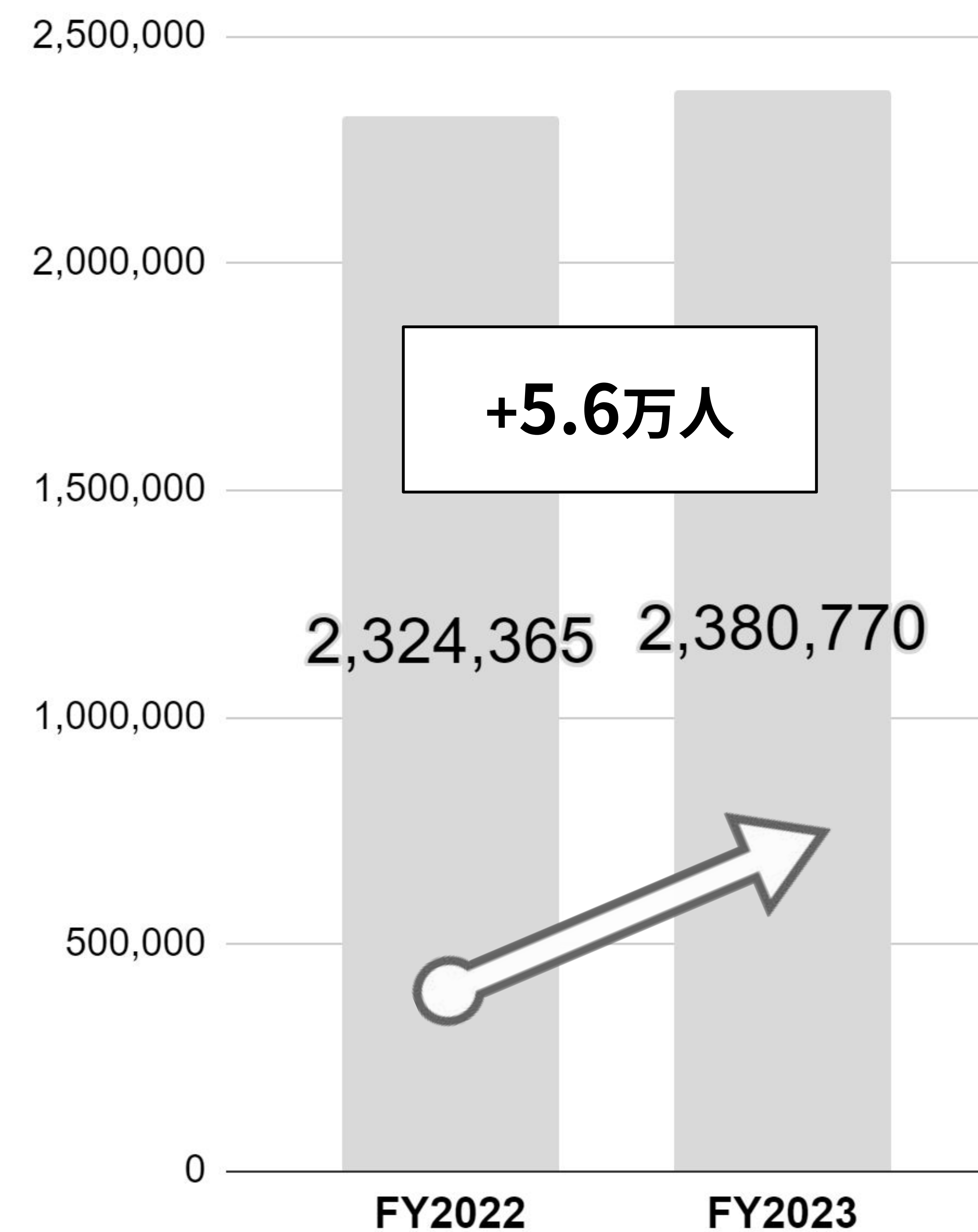
(単位:社)



## 契約ユーザー数

YoY **+2.4%**

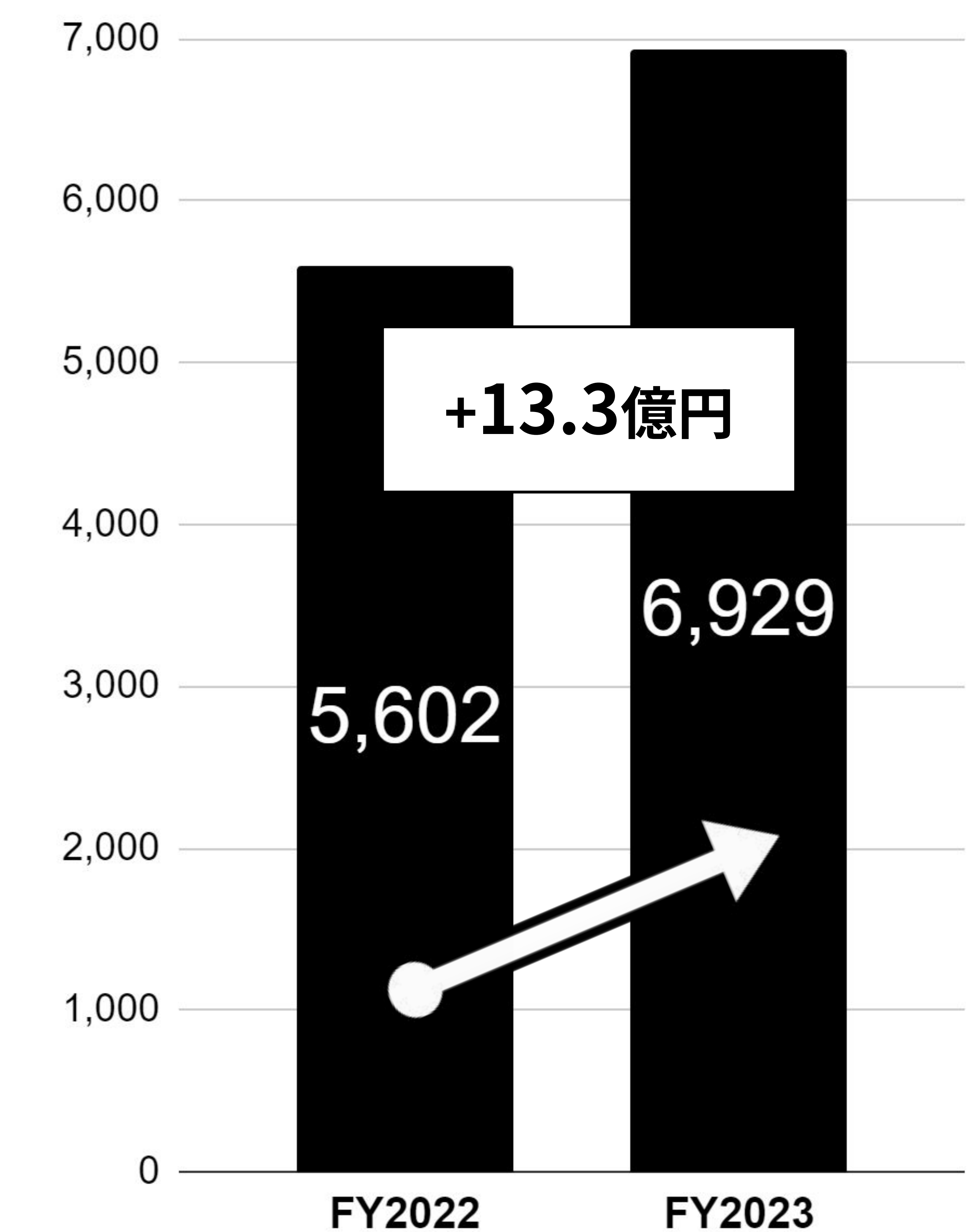
(単位:人)



## ARR

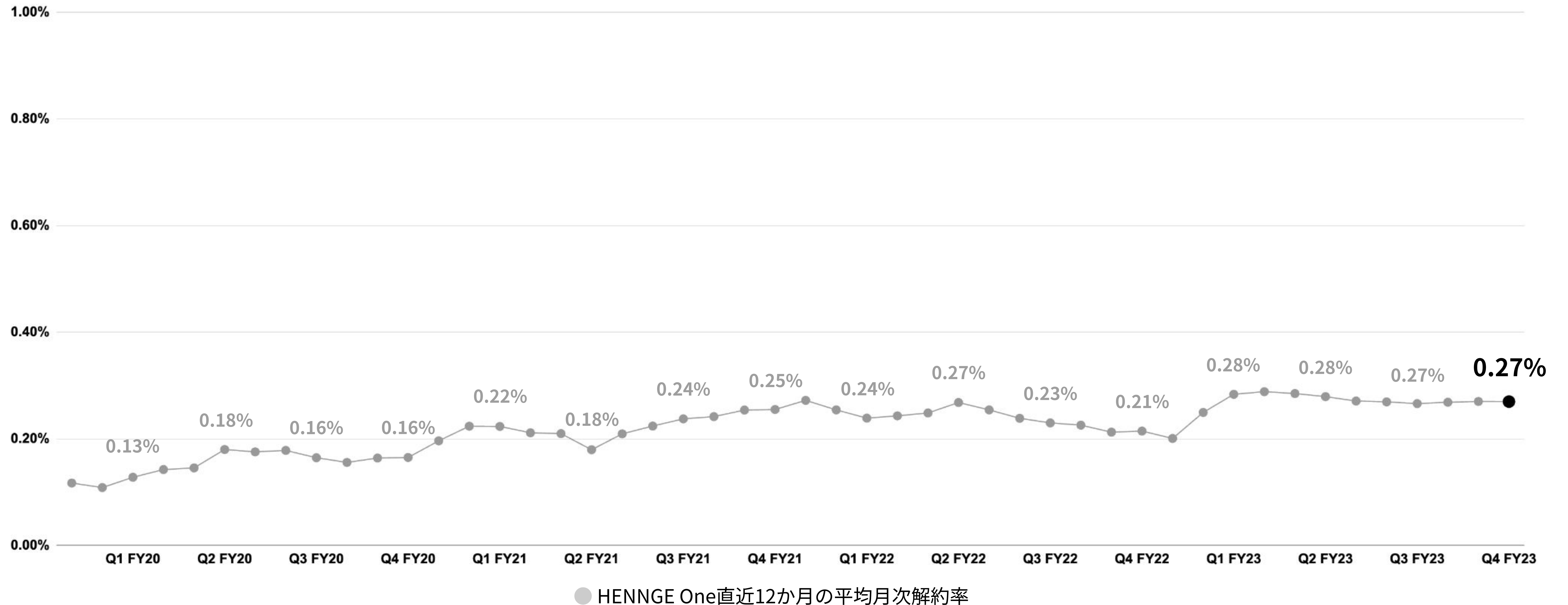
YoY **+23.7%**

(単位:百万円)



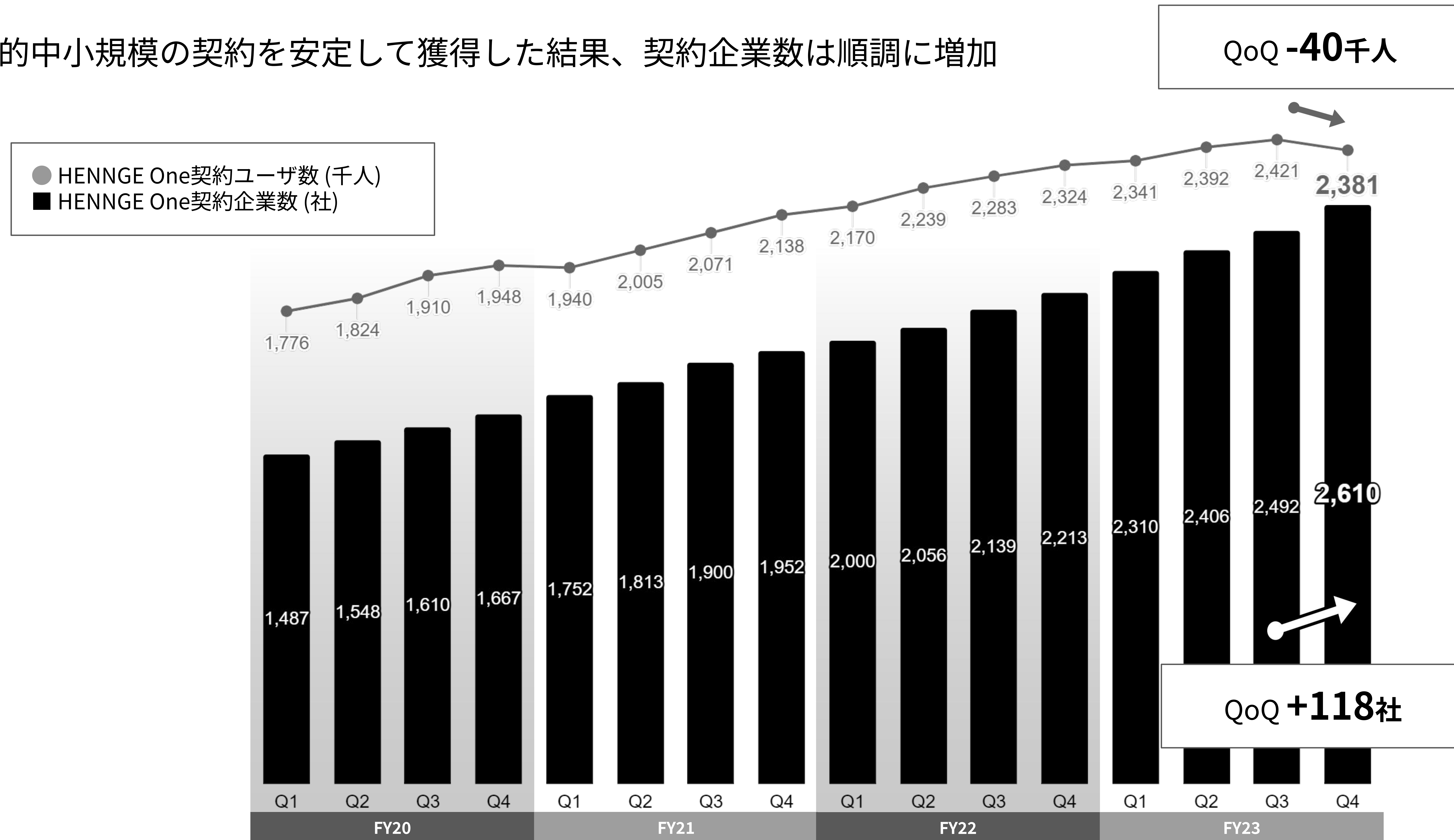
# HENNGE One平均月次解約率の推移

当第1四半期以降、従来からの解約理由に加え、既存顧客の新プラン移行をきっかけとした解約が若干発生したものの、引き続き、低解約率による安定的で持続可能な成長モデルを維持



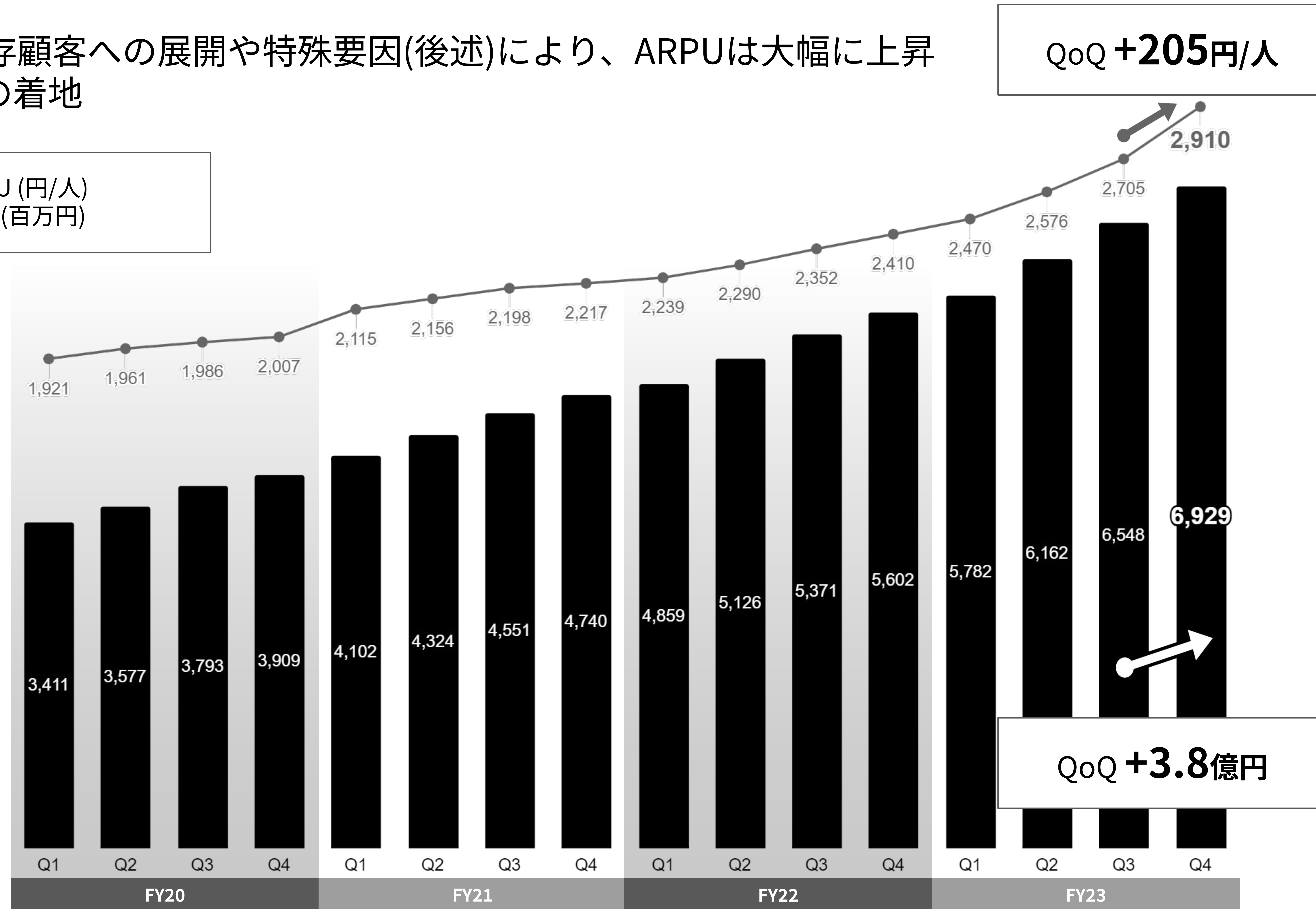
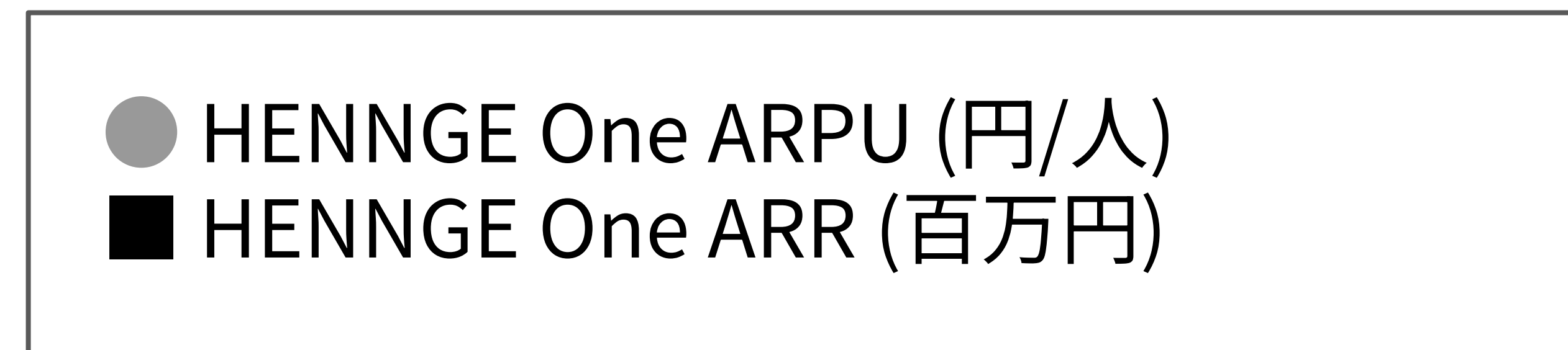
# HENNGE One契約企業数と契約ユーザー数の推移

比較的中小規模の契約を安定して獲得した結果、契約企業数は順調に増加



# HENNGE One ARRとARPUの推移

新プランの新規・既存顧客への展開や特殊要因(後述)により、ARPUは大幅に上昇  
ARRは大幅な増加での着地

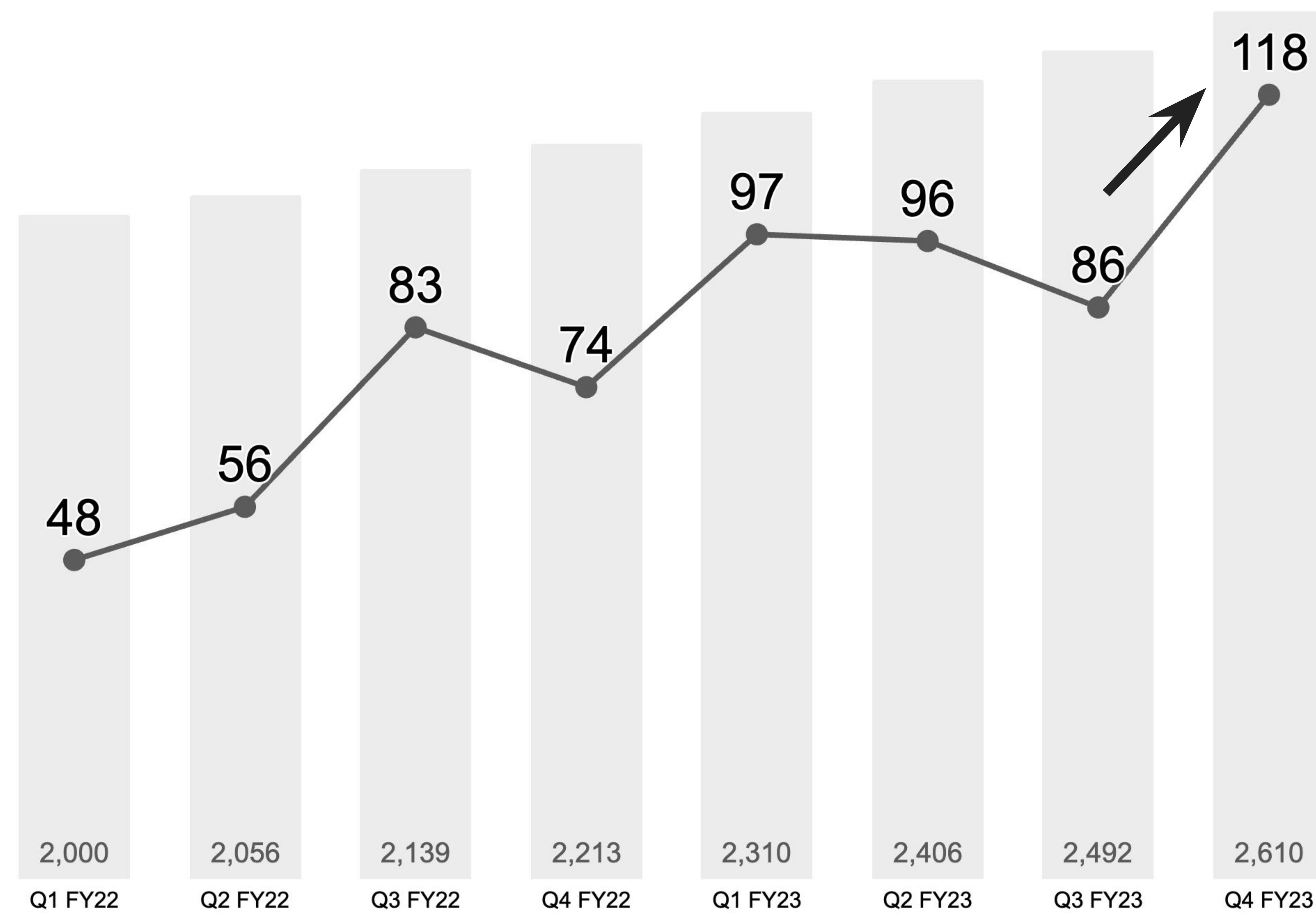




# HENNGE One契約ユーザー数の減少について

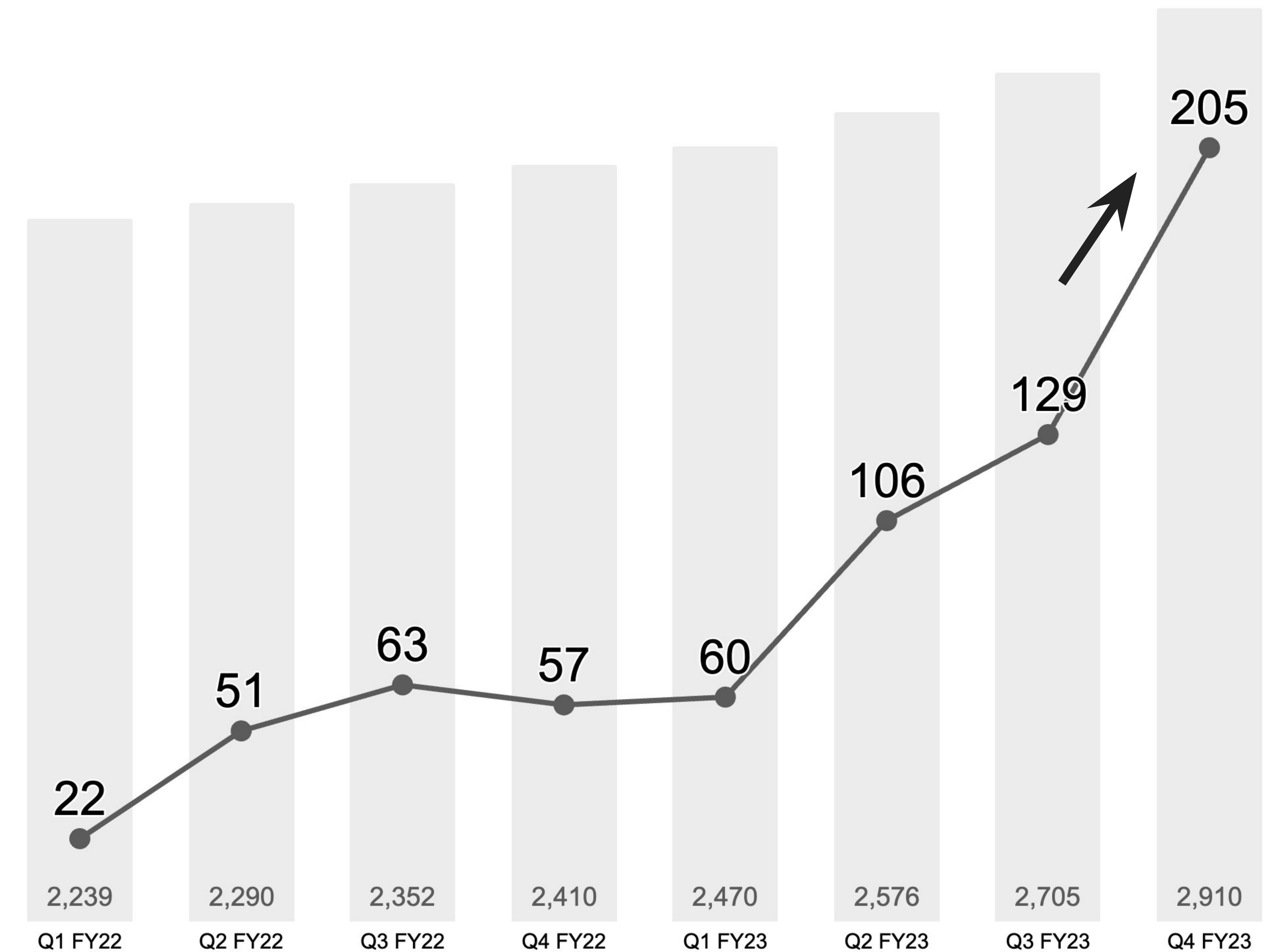
プラン変更に伴う課金対象の変更により、1社(教育機関)の契約ユーザー数が約90,000から約3,000に減少  
本件は非常に特殊なケースであり、新規顧客獲得は順調に進捗

## 契約企業数の四半期増減



■ HENNGE One契約企業数(社) ● 四半期増減(社)

## ARPUの四半期増減



■ HENNGE One ARPU(円/人) ● 四半期増減(円/人)

# 2024年9月期

(2023年10月～2024年9月)

# 通期業績見通し

# 2024年9月期の方針

**HENNGE Oneの中期的なARR成長の加速を目指し  
新機能・新サービスを継続的に創出し、顧客へ展開するとともに、  
人材獲得力の向上による体制強化を図る**

## HENNGE One事業

契約企業数とARPUの向上によって、ARRの年間20%以上の持続的成長を目指す。

## マーケティング活動

年々高まるセキュリティに対する需要を捉えるべく、販売パートナーとの共同イベントなど、様々な広告宣伝活動を実施していく。また、HENNGEの認知度向上のための各種イベントも実施する。

## 人員計画

今後の更なる成長のための全方位的な採用を行い、全社で50名超の純増を目指す。また、より高い付加価値を生み出すことのできる体制を意識した採用を推進する。昨年度に引き続き、人材獲得力の向上に資するような各種施策を検討していく。

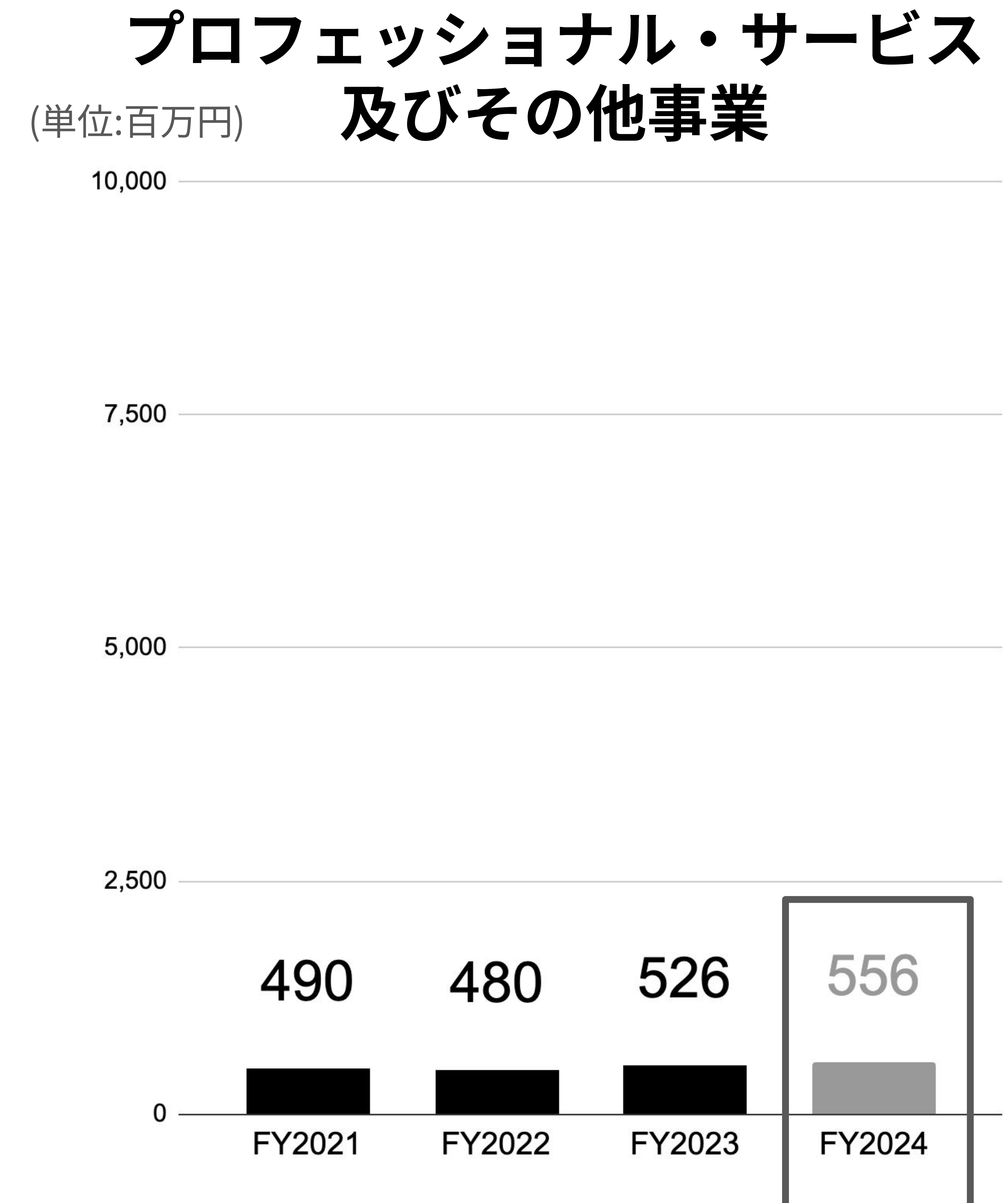
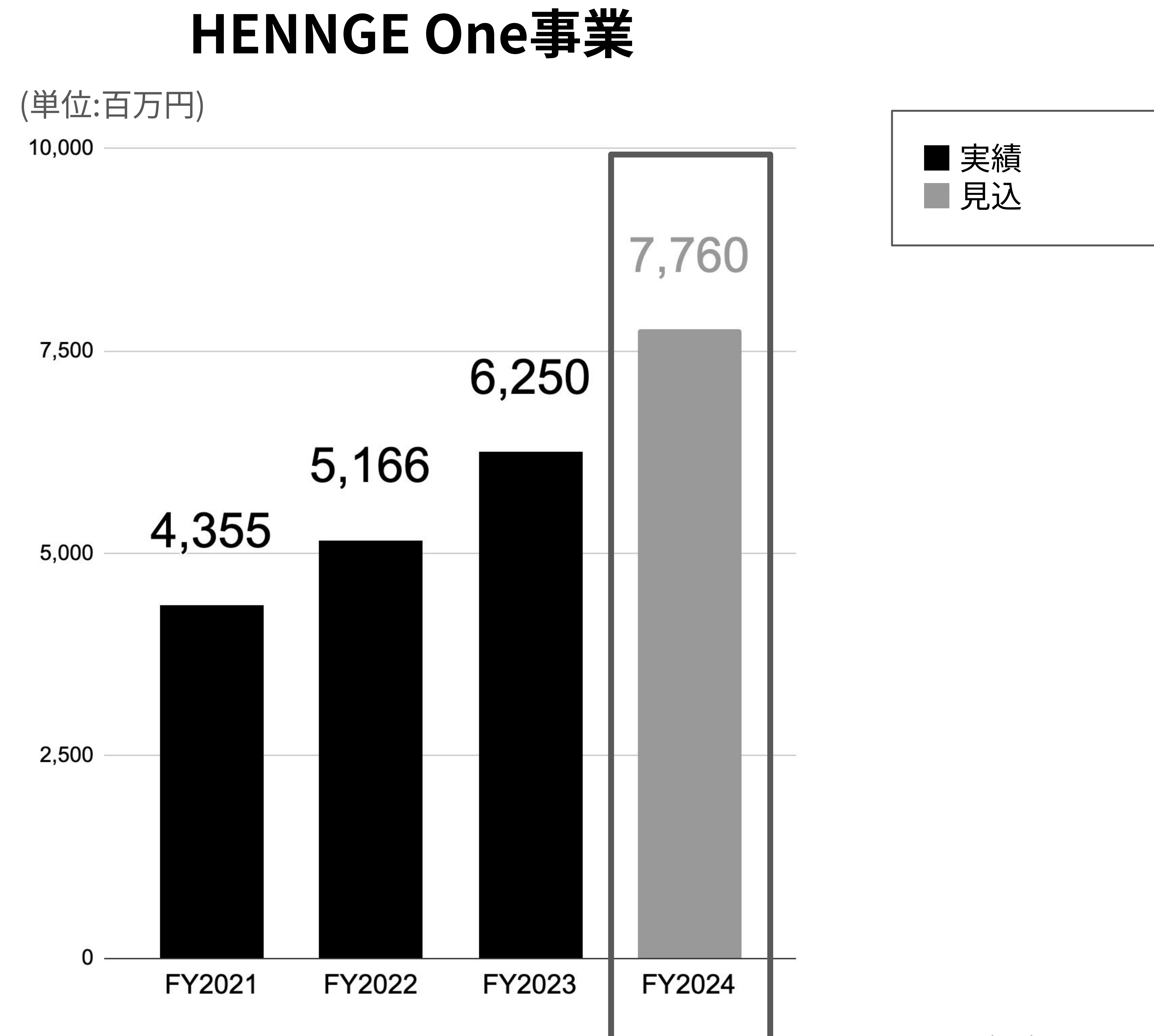
# 連結業績見通し (通期)

(単位:百万円)	FY2022 実績	FY2023 実績	FY2024 通期業績予想	YoY	YoY (%)
<b>売上高</b>	5,646	6,776	<b>8,316</b>	+1,541	+22.7%
うちHENNGE One事業	5,166	6,250	7,760	+1,510	+24.2%
うちプロフェッショナル・サービス及びその他事業	480	526	556	+30	+5.8%
<b>営業費用</b>	5,184	6,068	<b>7,372</b>	+1,304	+21.5%
<b>営業利益</b>	462	708	<b>945</b>	+237	+33.5%
(営業利益率)	(8.2%)	(10.4%)	(11.4%)		(+0.9pt)
<b>経常利益</b>	452	713	<b>945</b>	+232	+32.5%
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	321	509	<b>633</b>	+124	+24.4%
(当期純利益率)	(5.7%)	(7.5%)	(7.6%)	(8.1%)	(+0.1pt)

1. 当社グループの成長ドライバーであるHENNGE One事業の売上高は、前期比**24.2%増**、プロフェッショナル・サービス及びその他事業は、同比**5.8%増**の見通し
2. 売上高は、前期比**22.7%増**、営業利益は、同比**33.5%増**となる見通し

# 売上高の推移 (通期)

HENNGE One事業の売上高は、前期比24.2%増の77.60億円の見通し

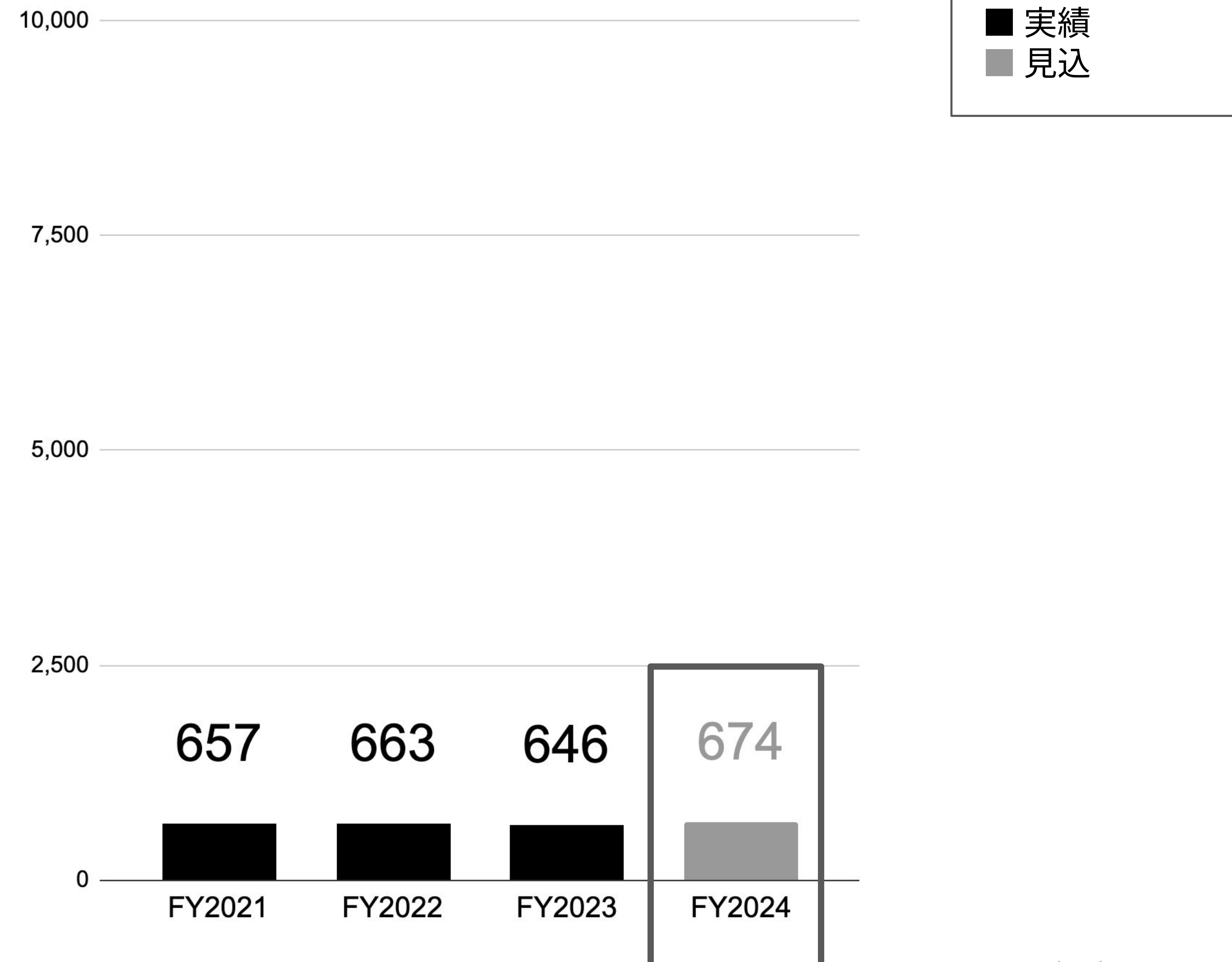


## 営業費用(原価+販管費)の推移 (通期)

広告宣伝費は、前期比4.4%増の6.74億円の見通し  
 広告宣伝費を除いた営業費用は、同比23.5%増の66.98億円の見通し

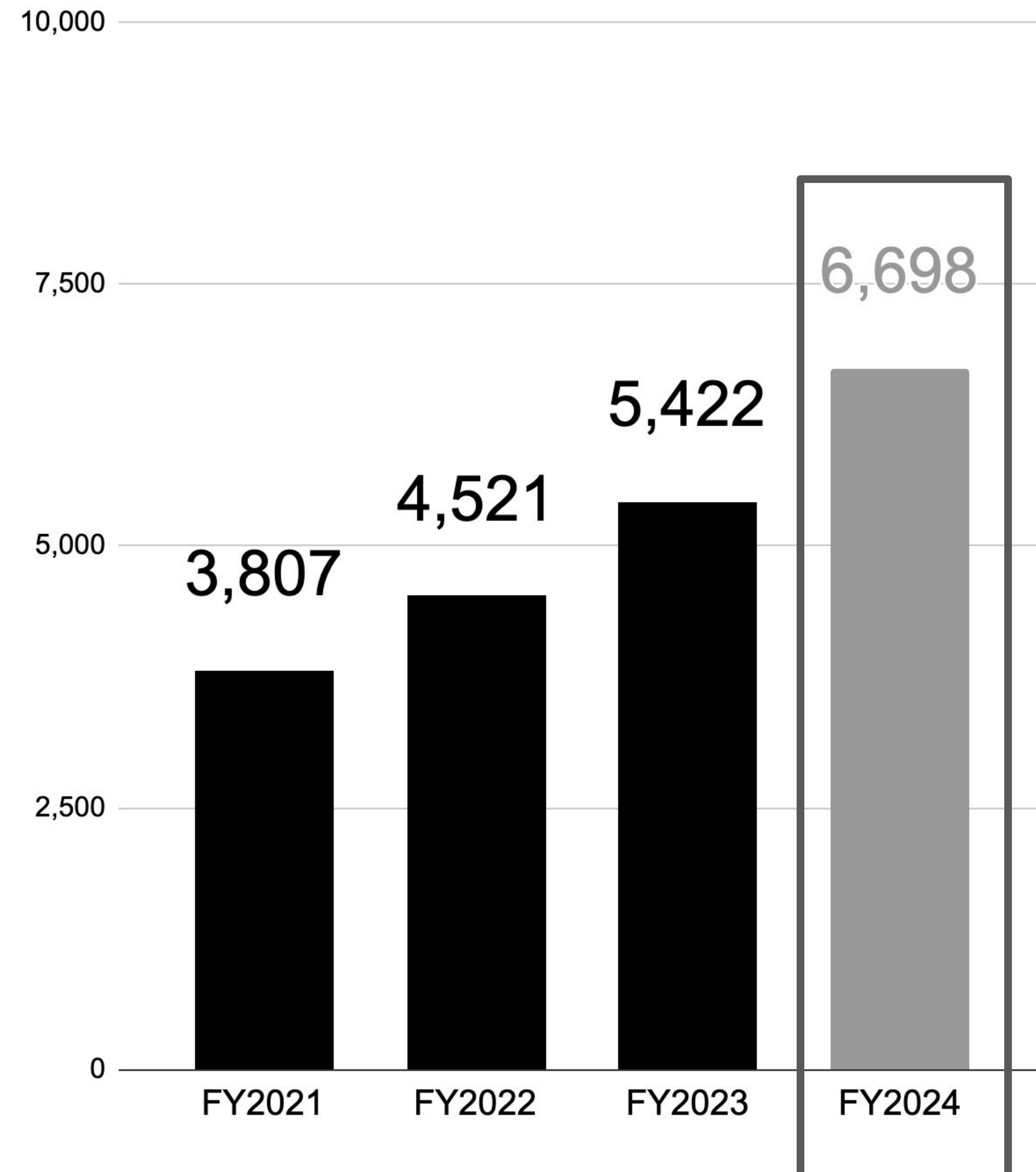
### 広告宣伝費

(単位:百万円)



### 広告宣伝費を除いた営業費用

(単位:百万円)



# 成長戦略

## 経営理念

私たちの技術や時代の先端をいく技術を広くお客様に届け、世界を変えていく

# Liberation of Technology

## テクノロジーの解放



# LTV最大化

当社グループの成長戦略は、LTV最大化  
現在、平均契約年数(Y)と売上総利益率(r)は高い水準にあるため、ARR最大化に注力します

$$LTV = ARR \times Y \times r$$

Y = [平均契約年数]

r = [売上総利益率]

$$ARR = N \times n \times ARPU$$

N = [契約企業数]

n = [契約企業あたりの平均契約ユーザー数]

ARPU = [契約ユーザーあたりの年額単価]

# ARR最大化

$$ARR = N \times n \times ARPU$$

**N : 契約企業数** の最大化

- 営業人員の増加
- 地域カバレッジ拡大
- 販売パートナーとの連携強化 など



**n : 平均ユーザ数** の最大化

- 大規模顧客へのアプローチ
- カスタマー・サクセス活動の推進 など

**ARPU : ユーザあたり単価** の向上

- 新機能や新サービス等の付加価値の創出 など

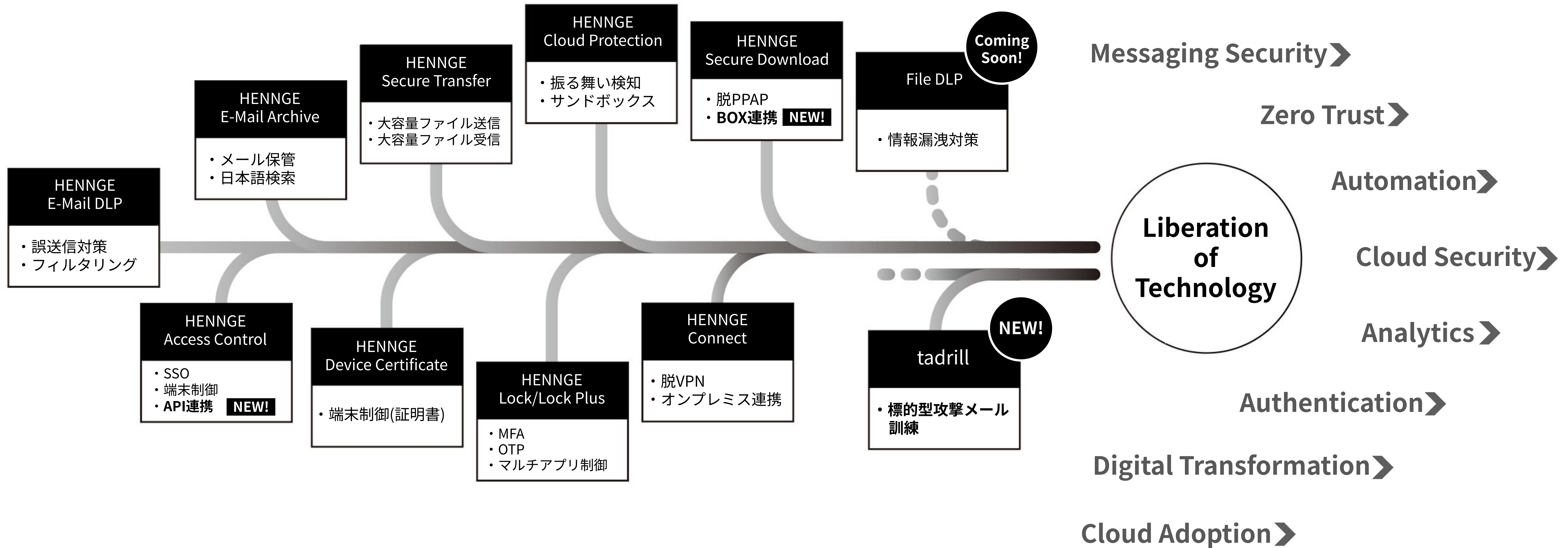
# 成長戦略の進捗 (HENNGE One)

契約企業数とARPUの向上に注力することで、ARR成長率の上昇を目指します

	ARR			N			n			ARPU		
	(百万円)	(%)	(百万円)	(社)	(%)	(社)	(人)	(%)	(人)	(円)	(%)	(円)
	ARR	前年比	前年Δ	契約企業数	前年比	前年Δ	契約企業あたりの 平均契約ユーザ数	前年比	前年Δ	契約ユーザあたりの 年額単価	前年比	前年Δ
FY2015	880		=	399		×	1,095		×	2,015		
		+56.5%	+318		+72.0%	+167		-7.8%	-93		-1.3%	-27
FY2016	1,288		=	642		×	1,018		×	1,970		
		+46.3%	+407		+60.9%	+243		-7.0%	-76		-2.2%	-45
FY2017	1,898		=	928		×	1,107		×	1,848		
		+47.4%	+611		+44.5%	+286		+8.7%	+89		-6.2%	-122
FY2018	2,552		=	1,176		×	1,166		×	1,861		
		+34.4%	+653		+26.7%	+248		+5.3%	+59		+0.7%	+13
FY2019	3,240		=	1,428		×	1,171		×	1,938		
		+27.0%	+688		+21.4%	+252		+0.4%	+5		+4.2%	+77
FY2020	3,909		=	1,667		×	1,169		×	2,007		
		+20.7%	+670		+16.7%	+239		-0.2%	-2		+3.5%	+68
FY2021	4,740		=	1,952		×	1,095		×	2,217		
		+21.2%	+830		+17.1%	+285		-6.3%	-73		+10.5%	+210
FY2022	5,602		=	2,213		×	1,050		×	2,410		
		+18.2%	+862		+13.4%	+261		-4.1%	-45		+8.7%	+193
FY2023	6,929		=	2,610		×	912		×	2,910		
		+23.7%	+1,328		+17.9%	+397		-13.2%	-138		+20.8%	+501

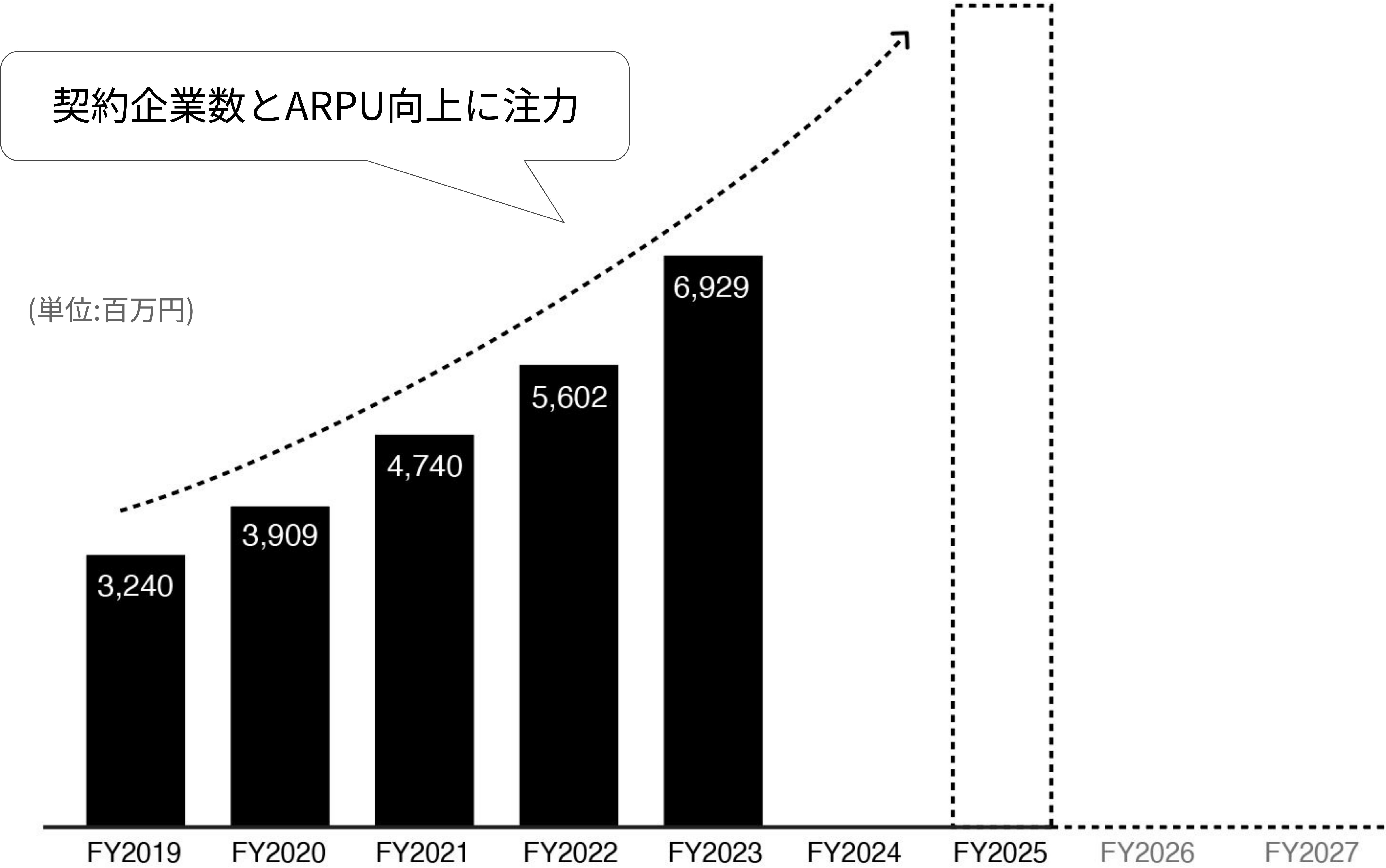
# お客様の改革を応援するHENNGE Oneファミリー

HENNGEは、お客様のSaaS活用を応援し、テクノロジーを解放し続けます



# HENNGE One ARRの成長戦略

HENNGE One ARRのCAGRを20%台中盤にすることで、FY2025までにARR100億円以上を目指します





**HENNGE**

# 補足資料 (会社概要)

# 会社概要

**会社名：** HENNGE株式会社

**役員構成：**

- 小椋 一宏 代表取締役社長CEO兼CTO
- 宮本 和明 代表取締役副社長
- 永留 義己 取締役副社長
- 天野 治夫 取締役副社長
- 高岡 美緒 社外取締役
- 加藤 道子 社外取締役
- 後藤 文明 常勤監査役
- 早川 明伸 監査役
- 小内 邦敬 監査役

**設立年月日：** 1996年11月5日

**従業員数：** 283名 (臨時雇用者を含まず、2023年9月末日現在)





# Locations

日本



台湾



## 経営理念

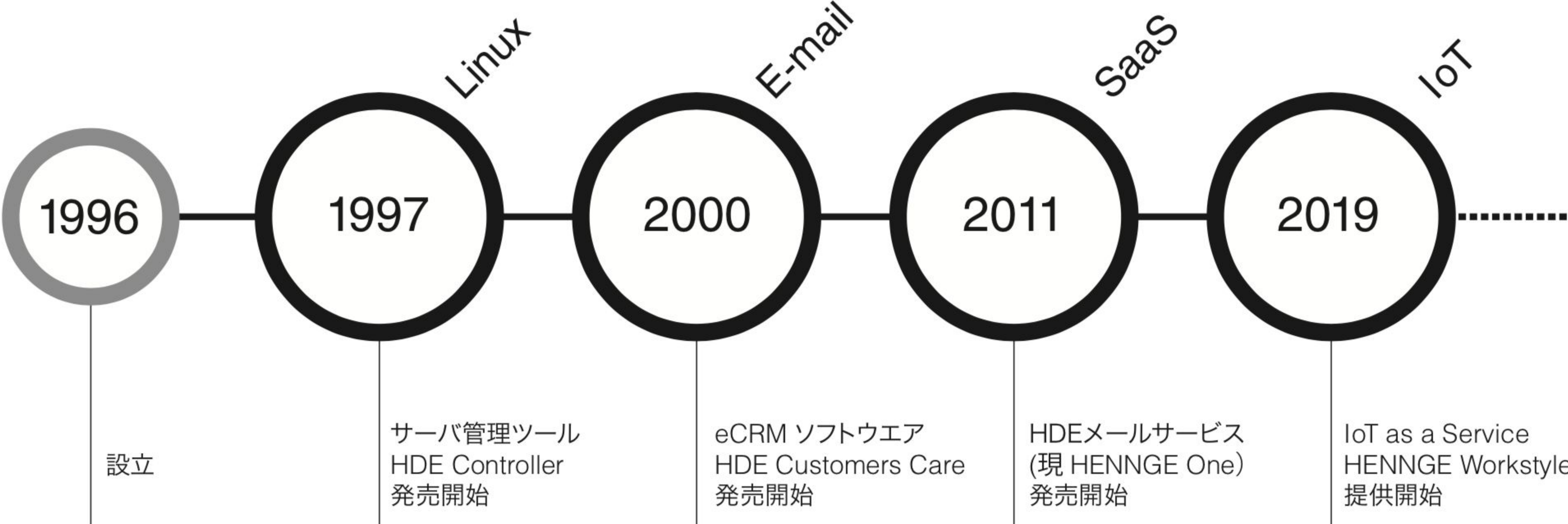
私たちの技術や時代の先端をいく技術を広くお客様に届け、世界を変えていく

# Liberation of Technology

## テクノロジーの解放

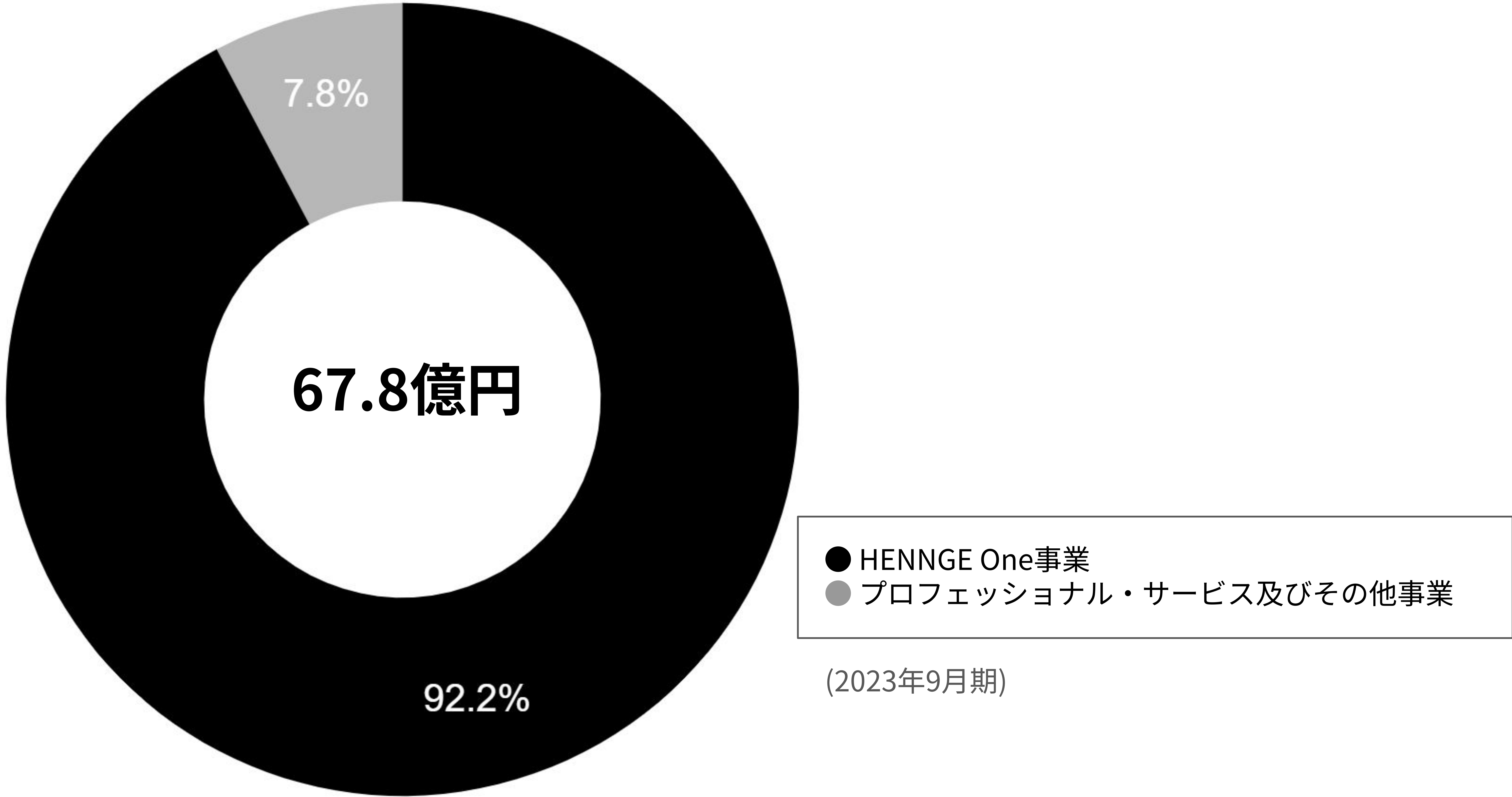
# History

変わらない志、変わり続ける事業領域



# 売上高の事業別構成

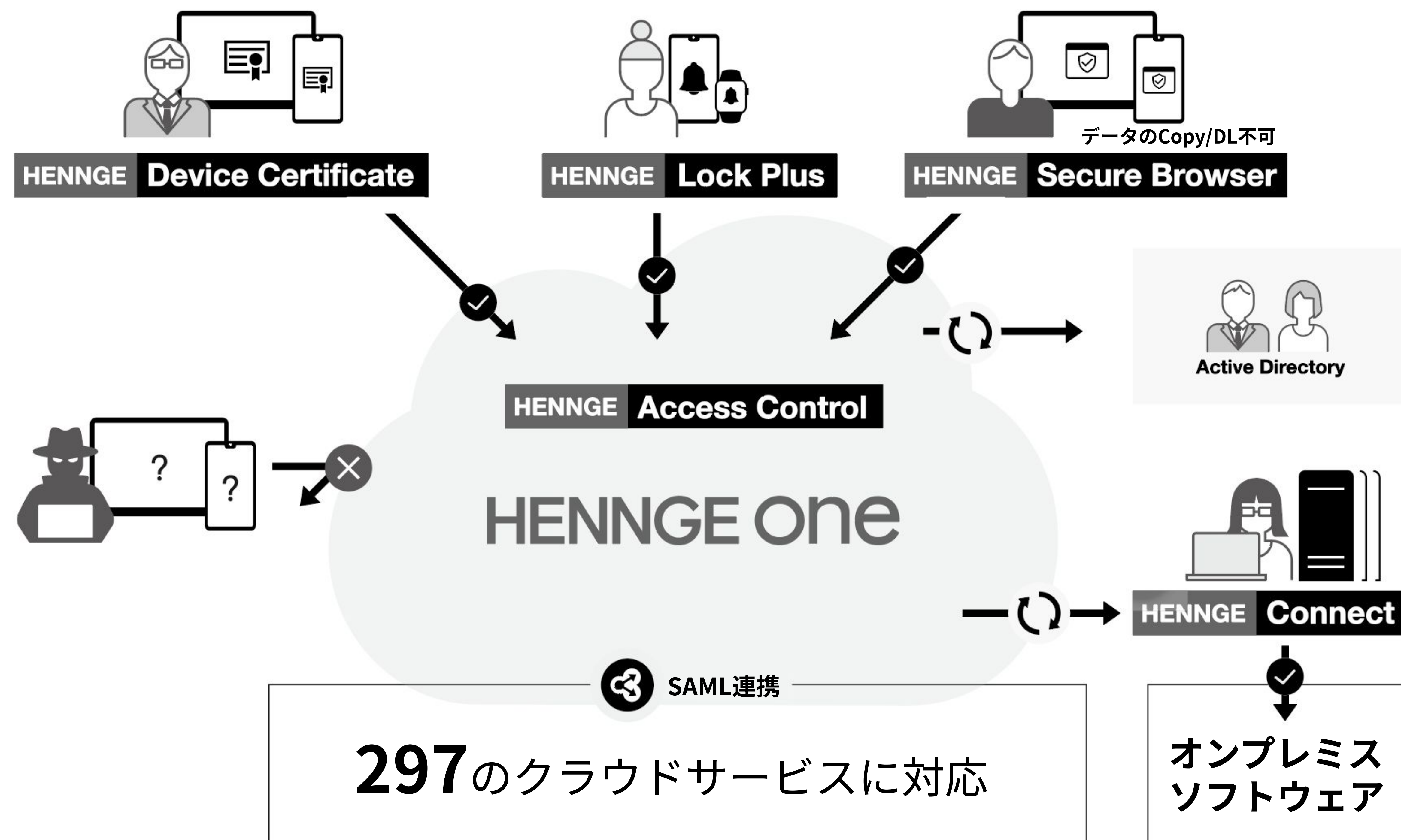
HENNGE One事業の売上高は、全体の約92.2%



# HENNGE One

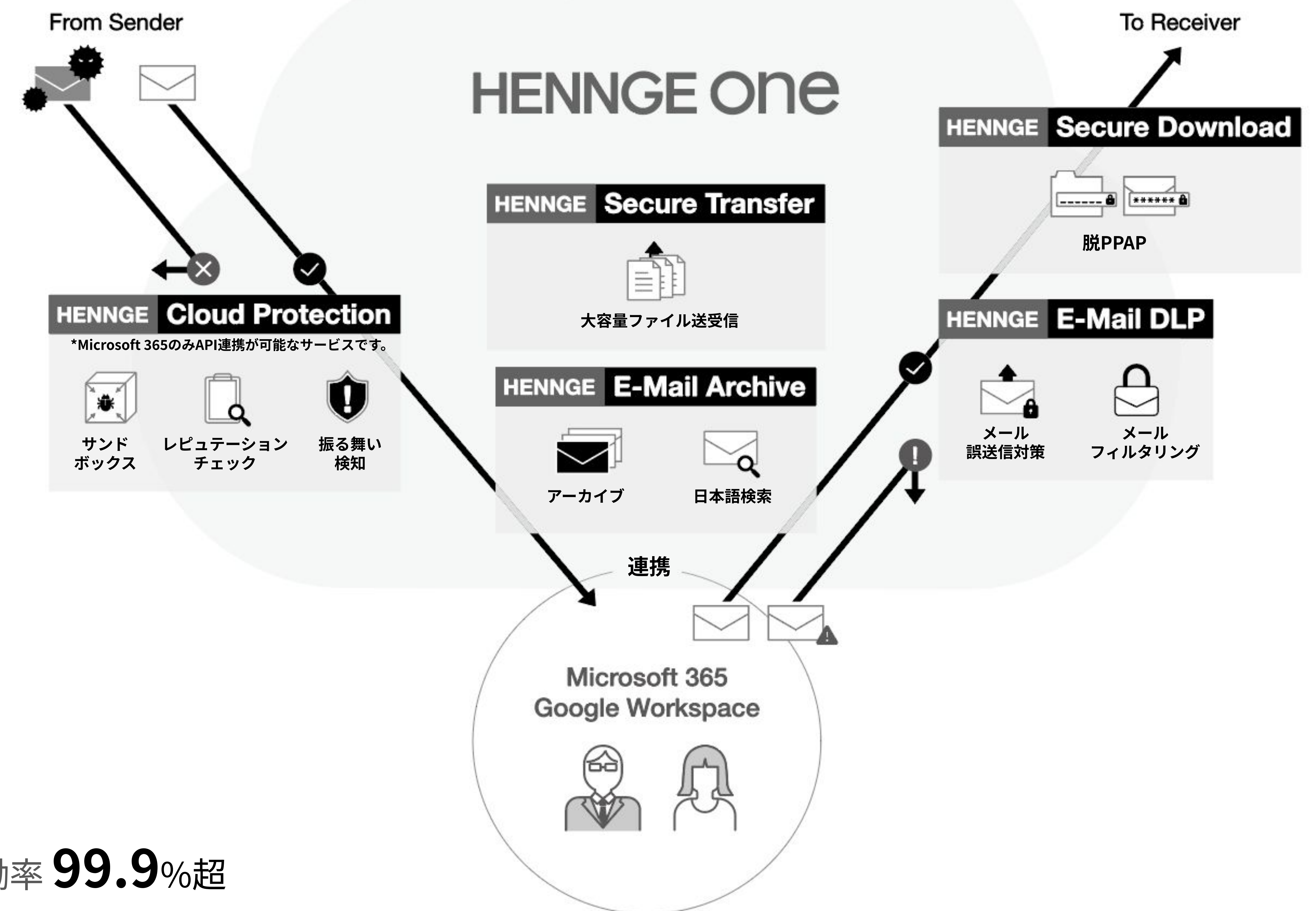
クラウド導入で生産性向上を図る企業に対し、クラウド利用時の障害を取り除くサービスをワンストップで提供  
 全社一括導入により、日々従業員が利用するクラウドサービスの安全性と利便性を高める

## IdP Features



HENNGE Oneサービス稼働率 **99.9%**超

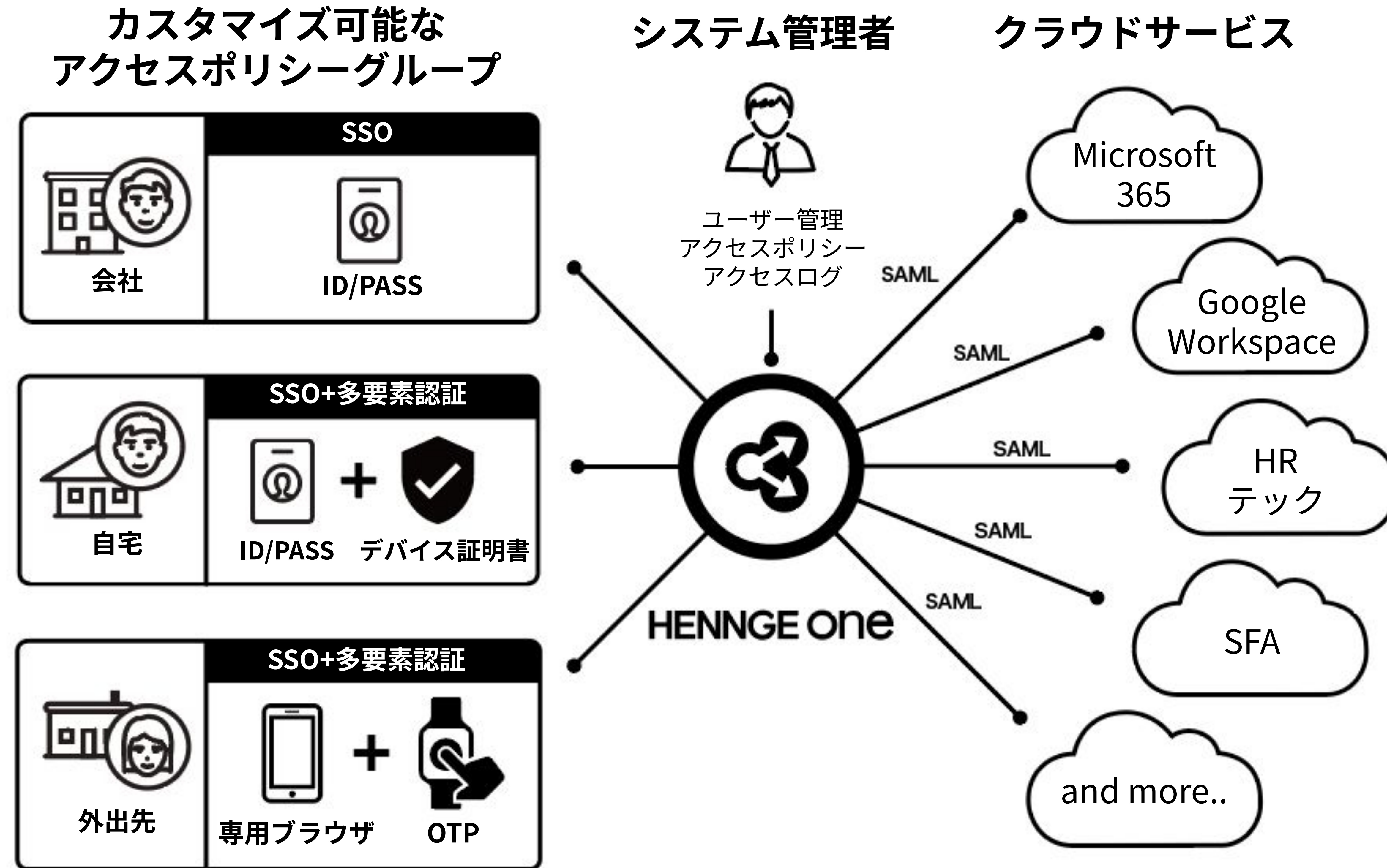
## E-Mail Security Features



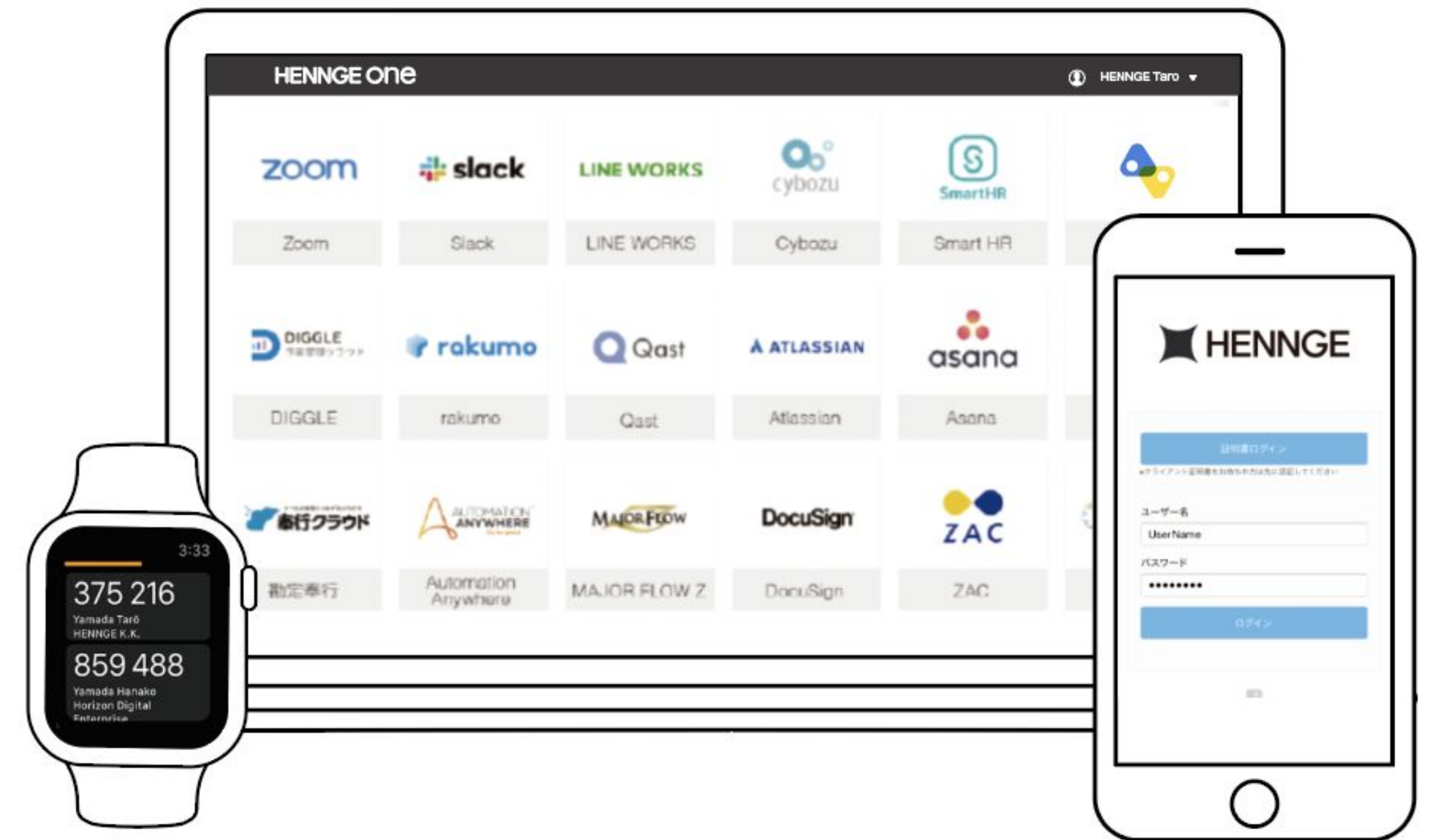
# HENNGE One - IdP Features

企業で利用する様々なクラウドサービスに対し横断的にセキュアなアクセスとSSOを実現するIDaaS

## アクセスコントロール



## ID統合



# HENNGE Oneの強固な顧客基盤

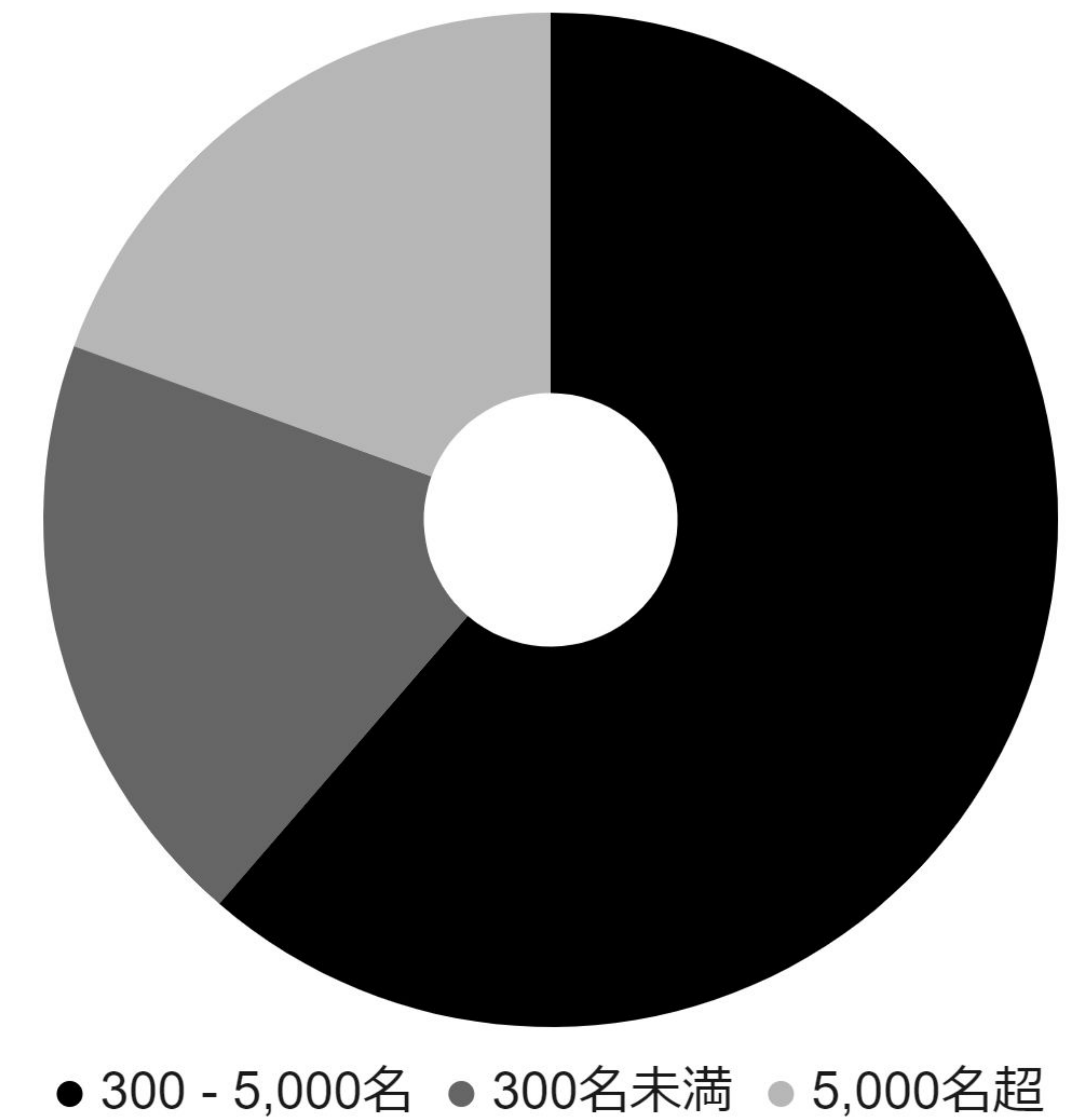
2,610社の多様な業種・業態でのご利用実績、契約ユーザ数は約238万人  
 契約企業あたりの平均契約ユーザ数は約912人 (2023年9月末日現在)



東証上場企業の約**16.9%**がご利用

他、多数

2023年9月期の  
 契約ユーザ規模別分布 (ARRベース)

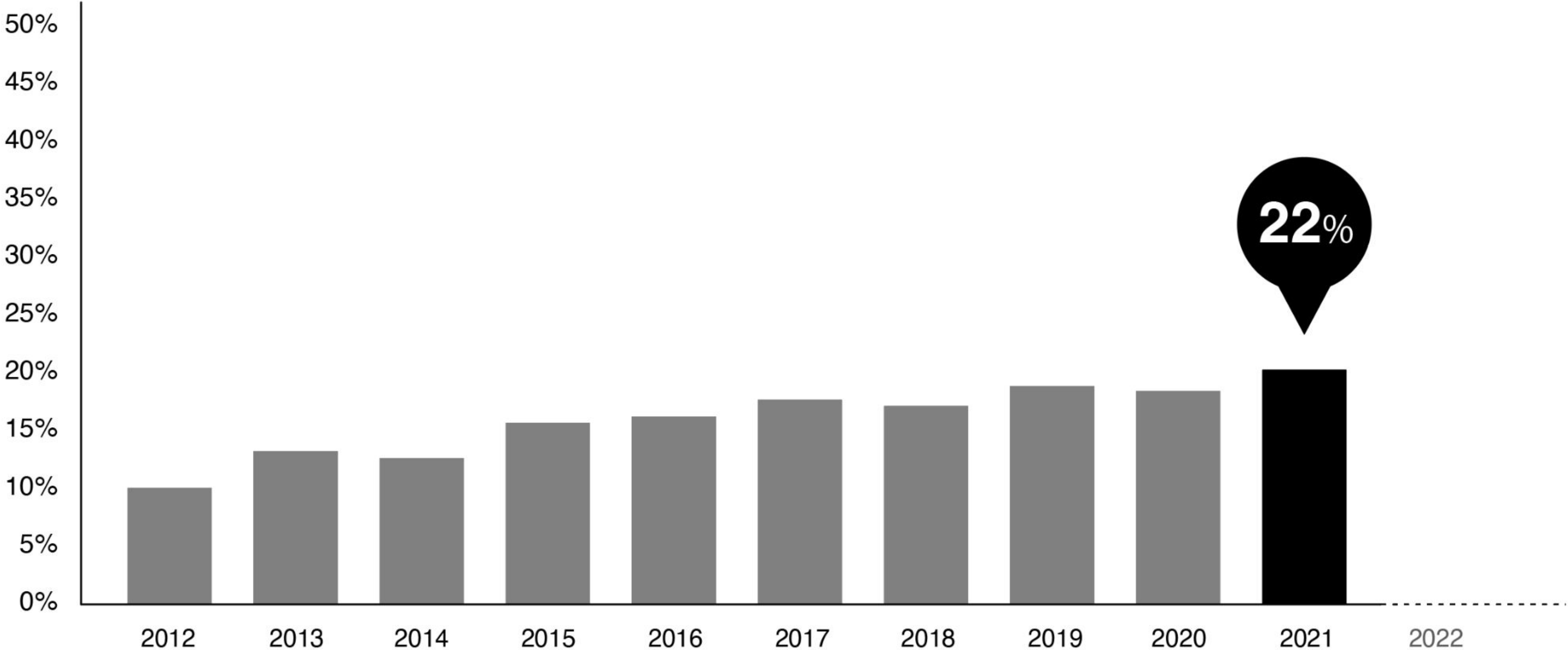


# 補足資料 (市場規模)



# 日本のクラウド・コンピューティング導入率

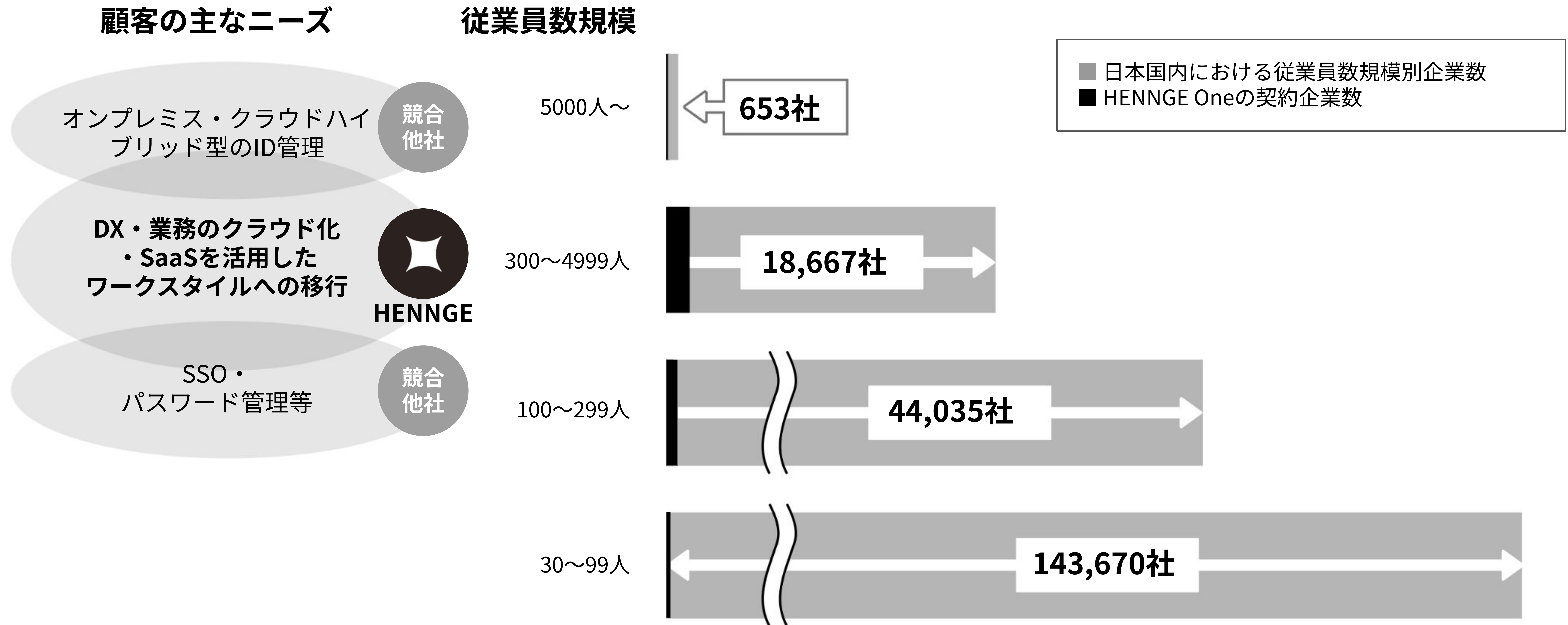
2021年の日本のクラウド・コンピューティング導入率は、前年から4.0pt上昇の平均22%



(出典:ガートナー、2021年6月、「ガートナー、日本企業のクラウド・コンピューティングに関する調査結果を発表」  
<https://www.gartner.co.jp/ja/newsroom/press-releases/pr-20210614>を元に当社グループでグラフ化)

# 日本国内における従業員数規模別企業数

クラウド導入は今後ますます加速していくため、大きな潜在マーケットが存在します



今後日本におけるクラウドの普及が進めば顧客となり得る企業数として日本国内における30人以上の従業員数規模の企業数の総計を基に当社グループで算出  
 (出典: 経済産業省「令和3年 経済センサス-活動調査結果 企業等に関する集計 産業横断的集計」)

# 日本国内における地域別企業数

日本国内の地域別での潜在顧客分布としては、東京以外の都市にも多くのマーケットが存在するため、東京だけでなく、名古屋、大阪、福岡等での地域的な拡大を目指します



# 補足資料 (その他)

## 大切にする価値観

「テクノロジーの解放」を具現化すべく、未成熟な果実(新技術)を積極的に食べ続け、アーリーアダプターであり続けます  
お客様に先駆けて何回も失敗を繰り返しながら、お客様に役立つ技術を見極め、それを広く提供していきます

**Eat unripe fruits,  
and make mistakes early**

# HENNGE WAY

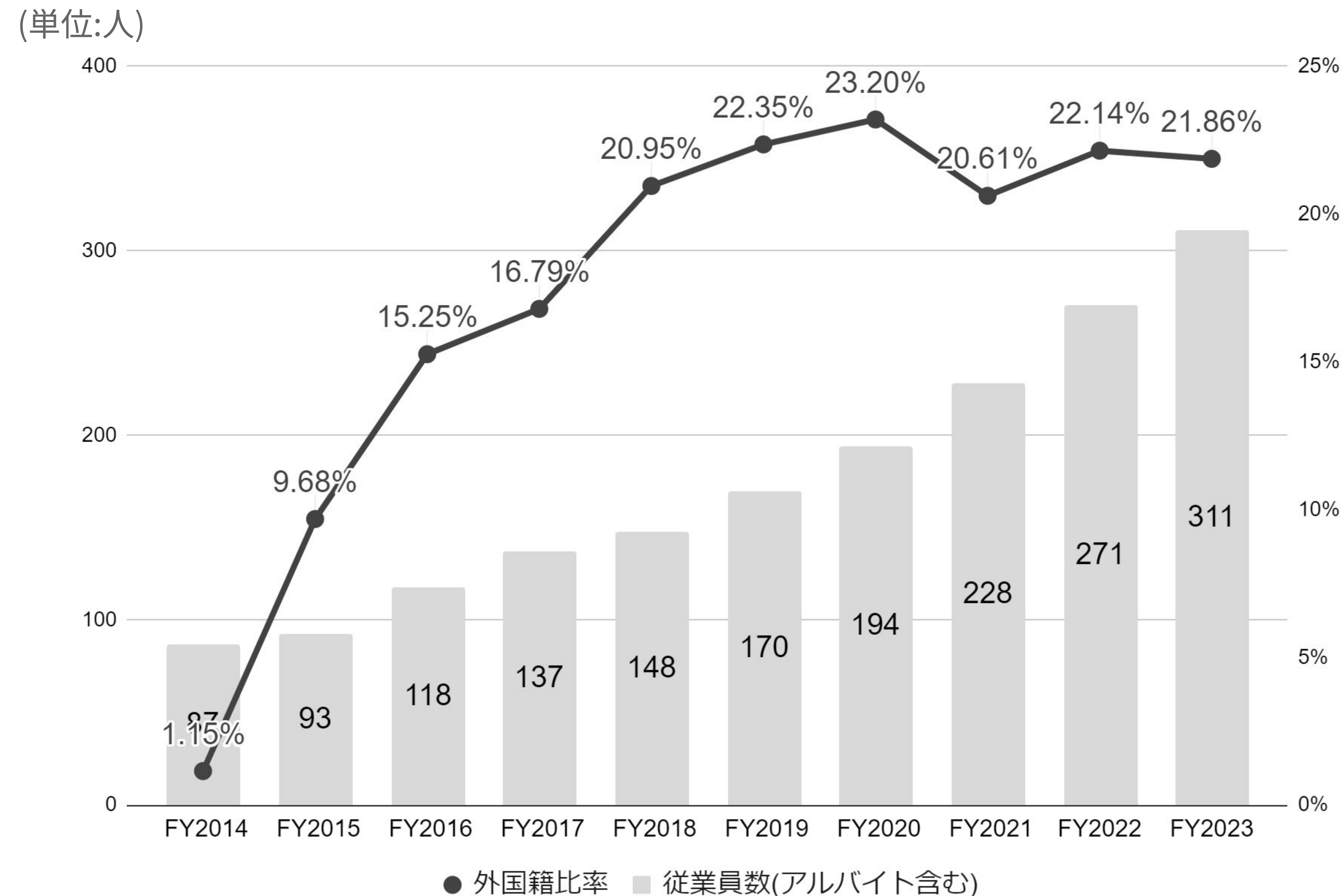
HENNGE WAYは、果敢な挑戦と失敗によって変化を続けるために私たちが大切にしている行動指針です

- #1 **IGNITE CHANGES TO LEARN FROM MISTAKES EARLY**
- #2 **STAY CURIOUS, BE A LEARNAHOLIC**
- #3 **HELP PASSIONATE HENNGE PEOPLE**
- #4 **LOVE AND ADOPT TECHNOLOGY TO OUR WORK**
- #5 **TRACK AND TRUST RATHER THAN RESTRICT AND SUSPECT**
- #6 **HAVE TRANSPARENT AND OPEN COMMUNICATION**
- #7 **EMBRACE DIVERSITY AND INCLUSION**
- #8 **LEAD YOURSELF WITH PASSION**

# ダイバーシティ & インクルージョン

世界中の優秀な人材にキャリア開発の機会を提供するとともに、インクルーシブな組織の先例として、デジタル変革の力で課題を乗り越える力となりたいと考えており、グローバルインターンシッププログラムに注力しております

## 従業員(アルバイト含む)と外国人比率の推移



## インターン応募総数(累計):

約**196**の国と地域から

**51,461**人

## インターン数(累計):

**35**の国と地域から

**132**人

(当該プログラム開始の2012年以來、2023年9月末日までの累計値)

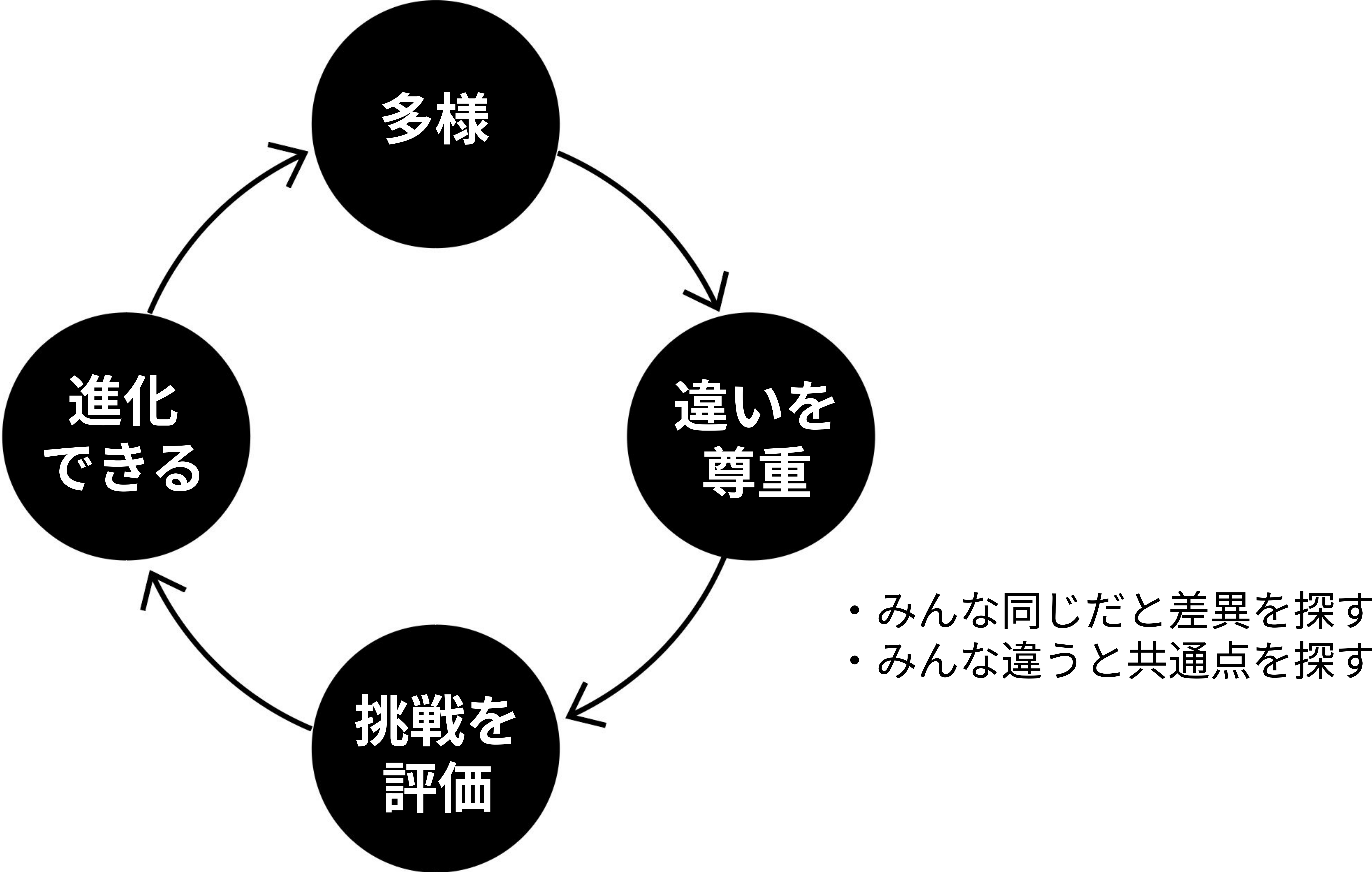
## 従業員(アルバイトを含む):

**25**以上の国と地域で構成

(2023年9月末日現在)

# 組織の多様性

私たちは、多様性こそが挑戦と変化を続けるための原動力だと考えています  
互いの違いを認識し、尊重する風土は、挑戦を評価し、変化を続ける組織の土壌を作ります





# 事業投資と新規事業開発

当社グループでは、現行事業における研究開発活動と並行して、事業投資と新規事業開発の両軸で、現行事業に隣接した事業分野へのアプローチを行っております

## 事業投資

当社グループの事業とシナジーがあり、独自の要素や技術を有しているB2Bスタートアップ企業等に投資しております。

### ●投資先



(rakumo株式会社)  
[4060:TYO]



(DIGGLE株式会社)



(any株式会社)



(シタテル株式会社)



(DNX Ventures)



(株式会社kickflow)  
※2023年10月 業務提携

## 新規事業開発

自ら変化、挑戦を続け、テクノロジーで世の中をより良いものにしたいという理念に基づき、事業化を視野に、定期的に部門横断的な新規事業アイデアの創造活動を行っております。



新規事業アイデアコンテスト  
**Inspire Matsuri**  
(インスパイア祭り)

# 過去開示参考資料

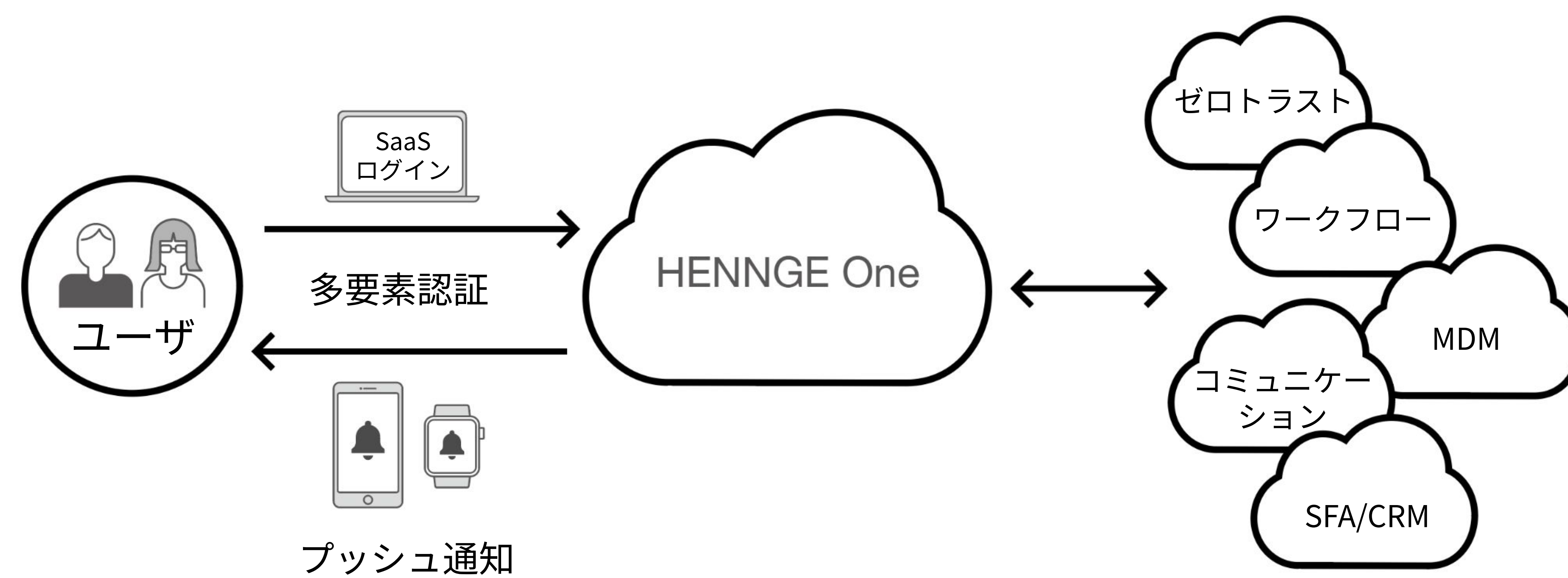
# HENNGE Oneの3つの新機能

2021年10月、より安全なファイル送受信、スマートフォンからのアクセスセキュリティ強化、標的型攻撃からのメール保護を実現する、3つの新機能を発売開始

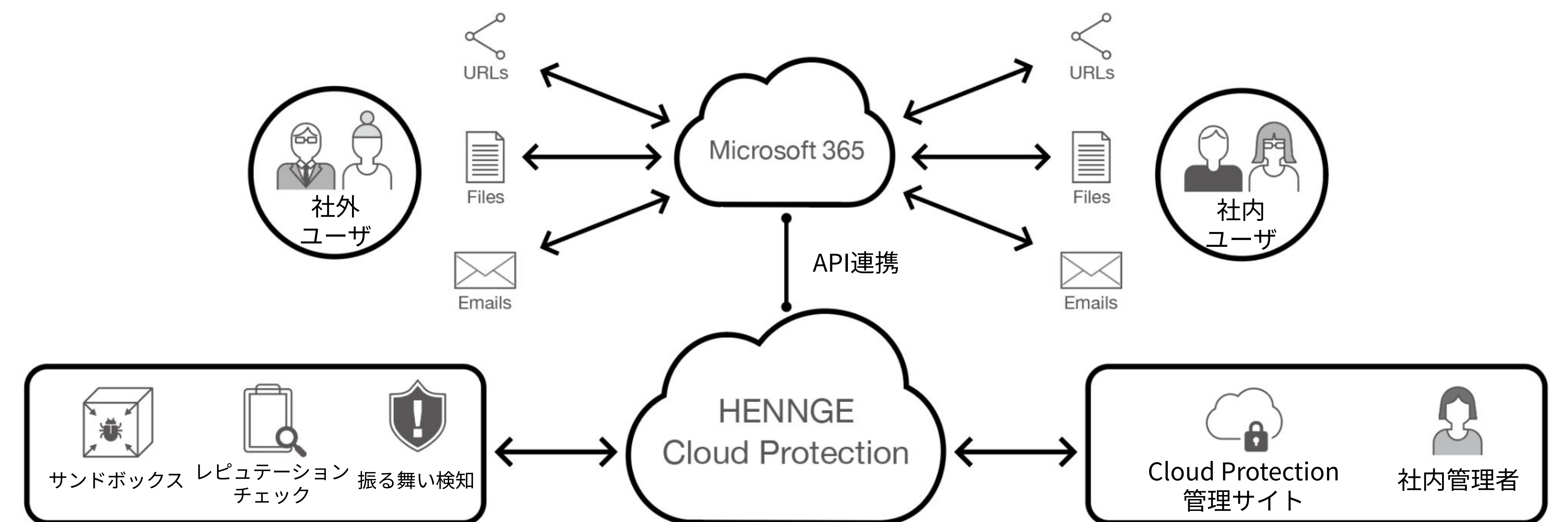
## HENNGE Secure Download



## HENNGE Lock Plus

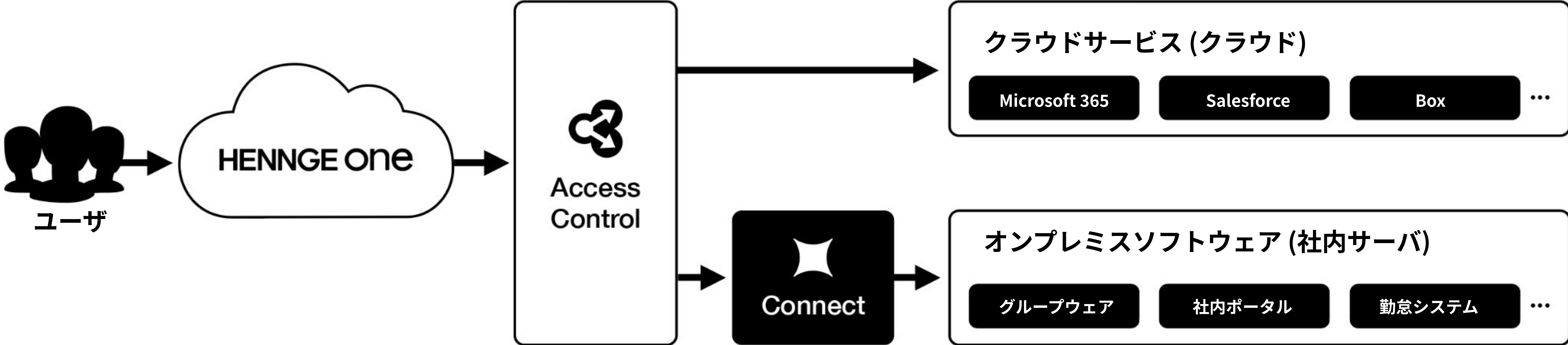


## HENNGE Cloud Protection



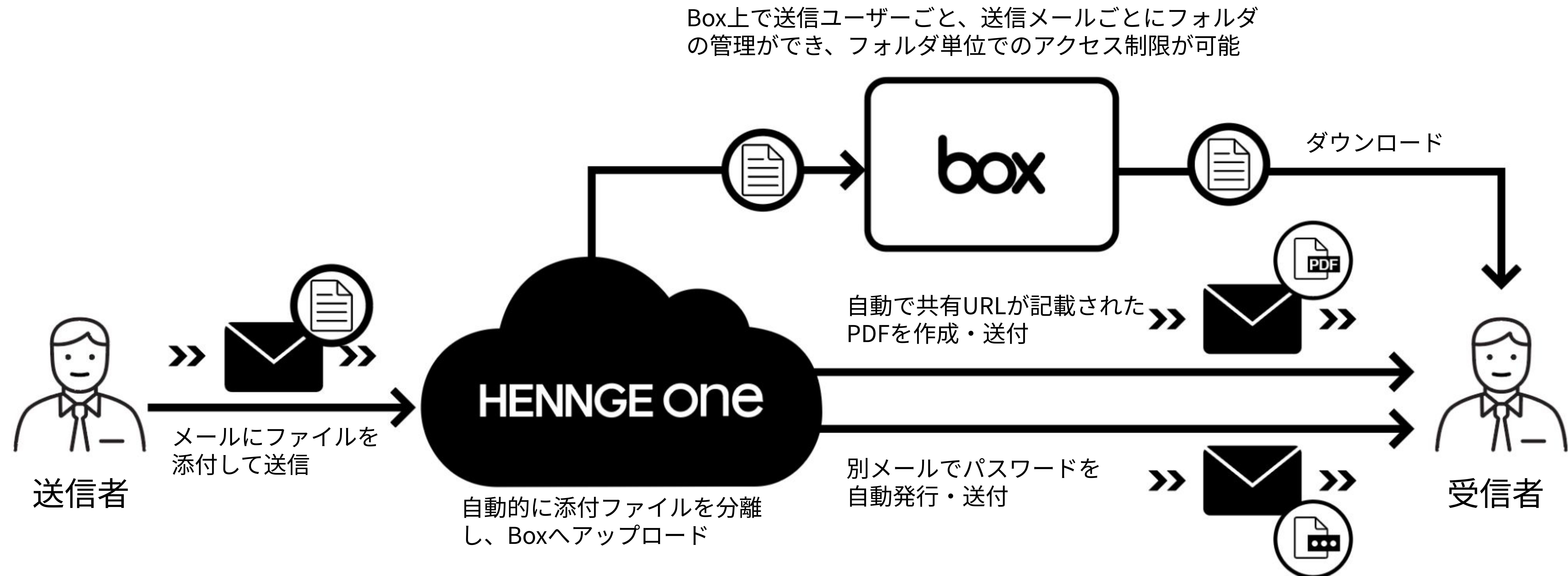
# HENNGE Oneの新機能「HENNGE Connect」

2022年4月、「HENNGE Connect」をHENNGE IdP Pro、HENNGE One Proの機能として発売開始  
オンプレミスとクラウドのハイブリッド環境でのシームレスなアクセス管理を実現します



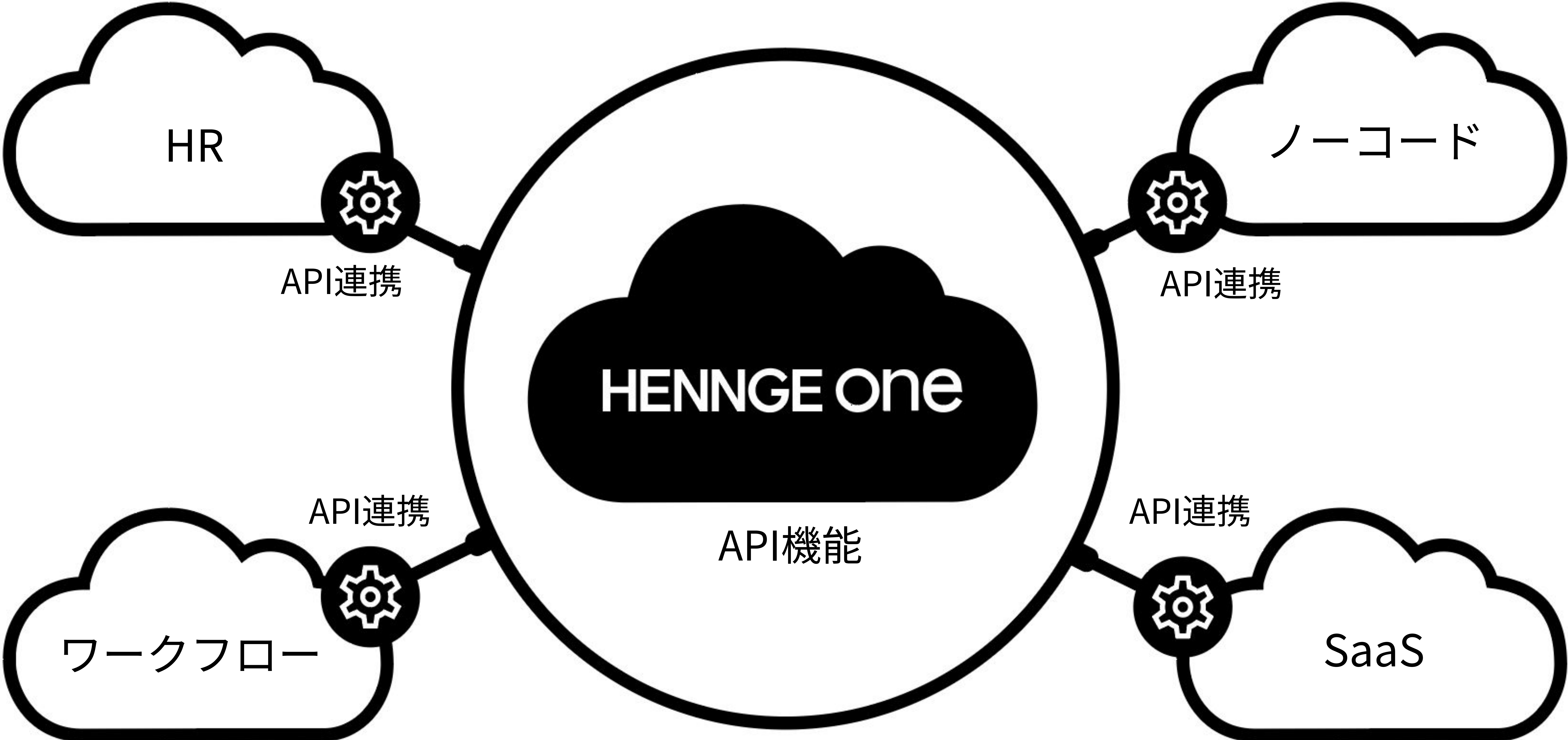
# HENNGE Oneの新機能「HENNGE Secure Download for Box」

2023年6月、脱PPAPソリューション「HENNGE Secure Download for Box」を提供開始  
HENNGE Oneのメール誤送信対策機能と併用して、セキュアなファイル共有を実現



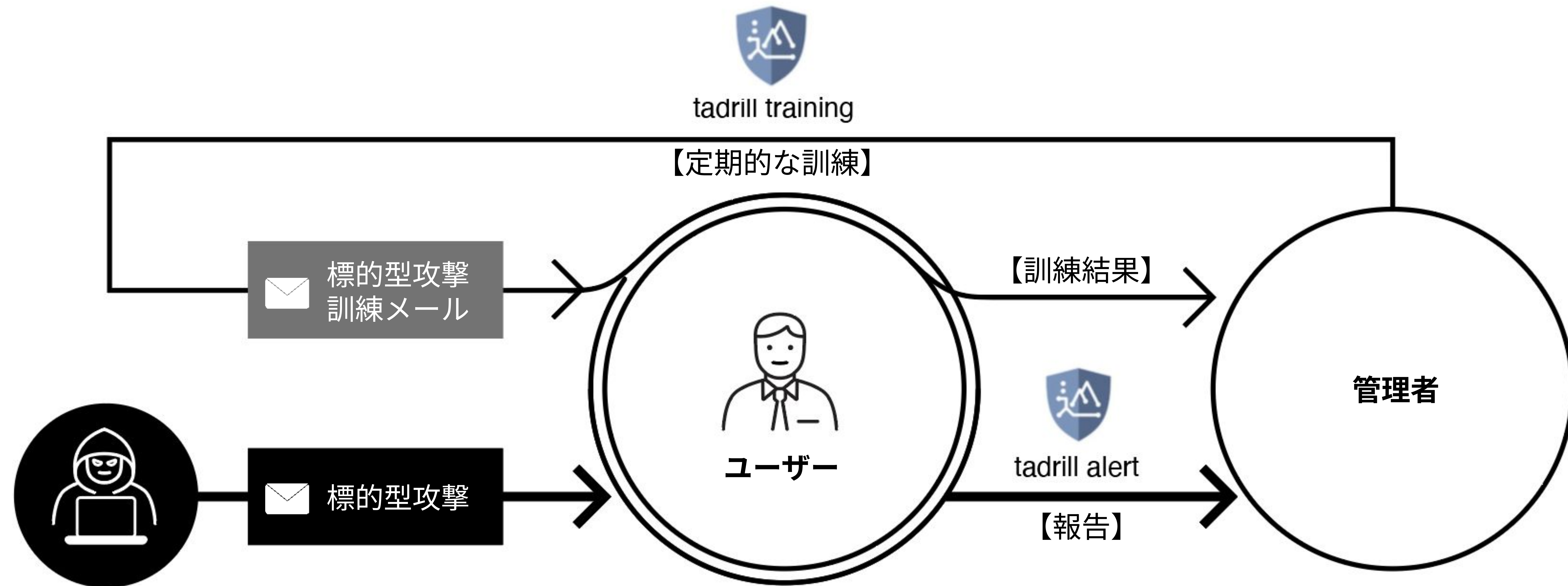
# HENNGE Oneの新機能「HENNGE Access Control API」

2023年6月、HENNGE OneのIDaaS機能「HENNGE Access Control」のAPIを公開  
外部システムとシームレスなデータ連携が可能になり、ID関連業務の作業自動化やログ情報取得が簡単に



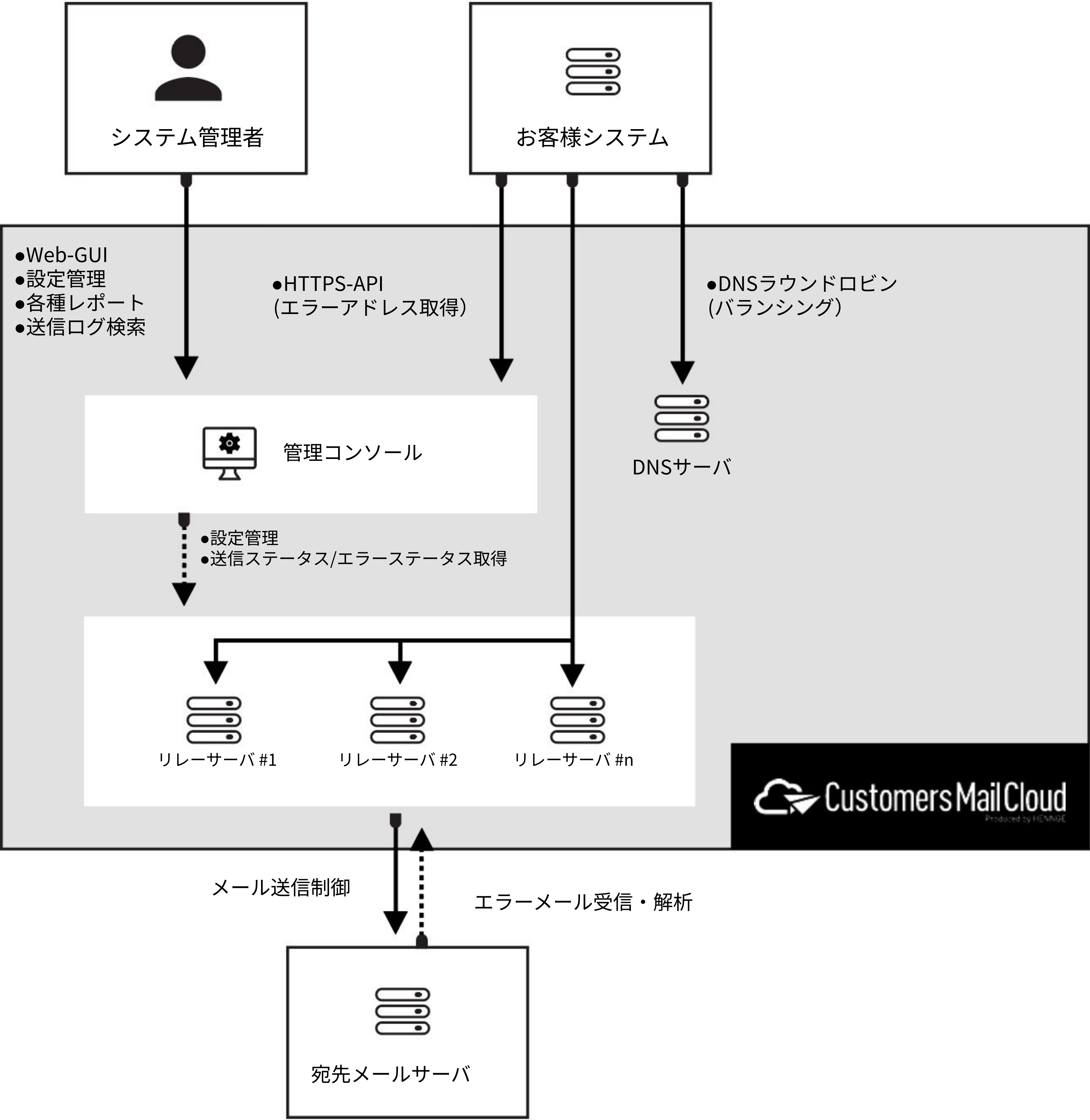
# 新サービス「tadrill」

2022年11月、自社完結型の標的型攻撃メール訓練サービス「tadrill」を提供開始  
実践的な訓練と、報告フローの定着化で、セキュリティレベルの向上を実現します



# Customers Mail Cloud

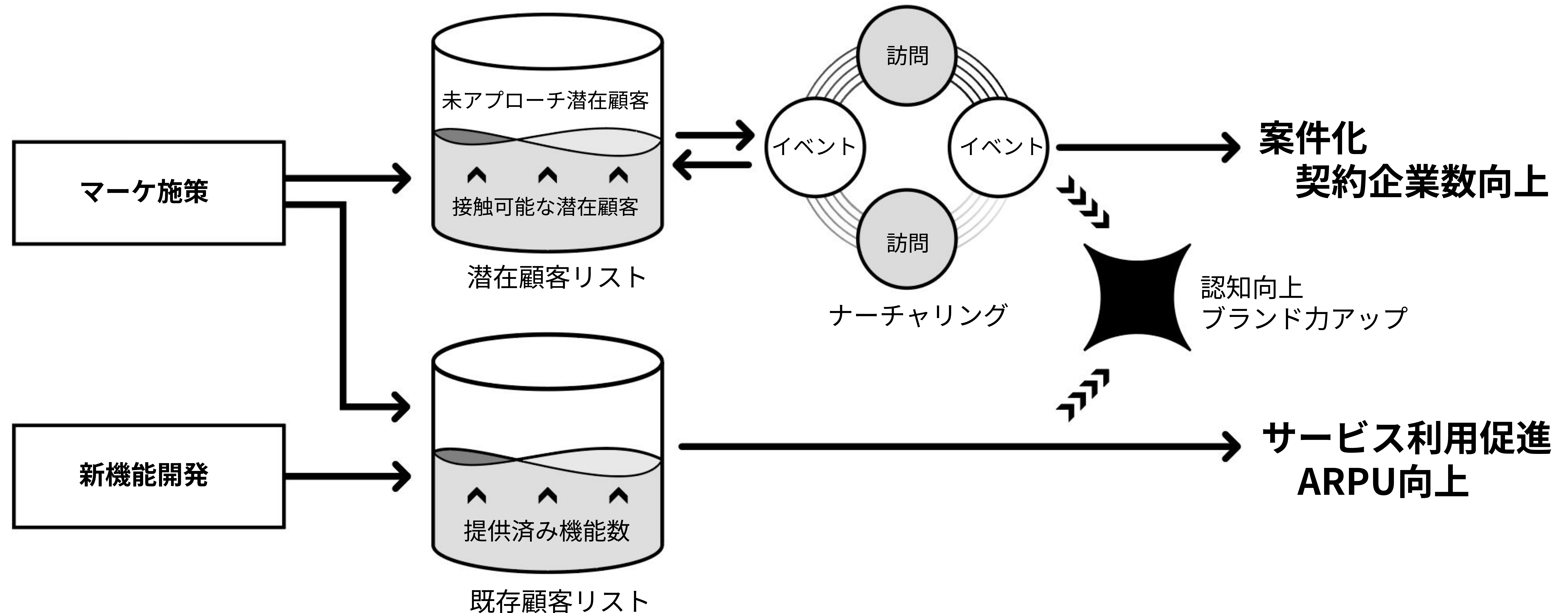
クラウドから簡単に、確実にメールを送信することができるメール配信サービス  
商品購入・予約完了の即時メールや、結果通知の一括大量メールなど、ユーザに届けたい通知メールを高い到達率で配信





# HENNGE Oneのマーケティング活動のイメージ図

HENNGE Oneは導入までの時間が比較的長いため、マーケティング施策実施からARR拡大に寄与するまで時間を要しますが、投下した広告宣伝投資は累積的に効果を発揮します



# 2019年6月発表のHENNGE Oneライセンス体系 (2019年6月～2021年9月)

HENNGE One Secure Access	HENNGE One Standard	HENNGE One Business
<p>SaaSとのシングル・サインオンと端末制御機能を含めた、エントリー向けのプランです。</p>	<p>Office 365/G Suiteやその他SaaSとのSSOにメール誤送信対策を含めた標準プランです。</p>	<p>Standardプランに端末制御に必要なデバイス証明書を追加したエンタープライズプランです。</p>
<p>月額 <b>400</b> 円 (税抜) 1ユーザー/月 (年間契約)</p>	<p>月額 <b>500</b> 円 (税抜) 1ユーザー/月 (年間契約)</p>	<p>月額 <b>750</b> 円 (税抜) 1ユーザー/月 (年間契約)</p>
<p>プラン内容</p>	<p>プラン内容</p>	<p>プラン内容</p>
<p>HENNGE Access Control</p>	<p>HENNGE Access Control</p>	<p>HENNGE Access Control</p>
<p>HENNGE Secure Browser</p>	<p>HENNGE Secure Browser</p>	<p>HENNGE Secure Browser</p>
<p>HENNGE Device Certificate</p>	<p>HENNGE Email Archive</p>	<p>HENNGE Email Archive</p>
<p>※ デバイス証明書発行 (1ユーザー1枚まで) ※ 提供可能ライセンス数 200ライセンス～</p>	<p>HENNGE Email DLP</p>	<p>HENNGE Email DLP</p>
	<p>HENNGE Secure Transfer</p>	<p>HENNGE Device Certificate</p>
	<p>※ デバイス証明書発行 (有償オプション) ※ 提供可能ライセンス数 100ライセンス～</p>	<p>HENNGE Secure Transfer</p>
		<p>※ デバイス証明書発行 (1ユーザー3枚まで) ※ 提供可能ライセンス数 100ライセンス～</p>

※ 2021年10月以降の新規契約から新ライセンス体系(2021年8月発表)が適用されます。

## 2021年8月発表のHENNGE Oneライセンス体系 (2021年10月～2024年3月)

2021年8月発表の3つの新機能の提供開始に伴い、2021年10月以降のライセンス体系を刷新  
高付加価値なセットプランを訴求しつつ、ライトユーザが導入しやすいプランも用意し、幅広いアプローチを目指します

セットプラン	概要	価格
HENNGE One Basic	HENNGE Oneの機能をまとめて導入する際にお得なセットプラン (証明書やLock Plus、Cloud Protectionの利用制限あり)	@600円/月
HENNGE One Pro		@1,000円/月

単機能プラン	概要	価格
HENNGE IdP Lite	SSO/IPアドレス制御/OTP/AD連携など	@150円/月
HENNGE IdP	Lite機能/デバイス証明書/Support Plus/Lock Plusなど	@300円/月
HENNGE IdP Pro	IdP/セキュアブラウザ/デバイス証明書追加など	@500円/月
HENNGE DLP	一時保留/フィルタリングなど	@300円/月
HENNGE ARC	アーカイブなど	@300円/月
HENNGE Cloud Protection	振る舞い検知/サンドボックスなど	@200円/月

※ 2024年4月以降の新規契約から新ライセンス体系(2023年8月発表)が適用されます。

# 用語集

**ARR (Annual Recurring Revenue) :**

対象月の月末時点における契約ユーザから獲得する、翌期以降も経常的に売上高に積み上げられる可能性の高いサブスクリプションサービスで獲得する年間契約金額です。

**ARPU (Average Revenue Per User) :**

1契約ユーザあたりの平均年間契約金額です。

**CAGR (Compound Average Growth Rate) :**

複数年にわたる成長率から1年あたりの幾何平均(複利に基づいて計算された年毎の平均)を求めたもので、年平均成長率です。

**E-Mail DLP (E-Mail Data Loss Prevention / E-Mail Data Leak Protection) :**

企業の電子メールの送受信において、機密情報・データの紛失や外部への漏洩を防止・阻止することです。

**IDaaS (Identity as a Service) :**

ID等ログイン情報の管理をクラウドで行えるようにしたSaaSです。

**LTV (Life Time Value) :**

顧客が顧客ライフサイクルの最初から最後までの中に当社の商品やサービスを購入した(する)金額の総計です。

**SSO (Single Sign On) :**

1度のユーザ認証で複数のシステムの利用が可能になる仕組みです。

**平均月次解約率 :**

当社が開示する平均月次解約率は、サービス解約等による契約金額の減少を元に算出されるグロスレベニューチャーンレートです。

# 免責事項

本書には、当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。

別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

当社グループは、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

当社グループ以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しております。

本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売りつけの申込み又は買付けの申込みの勧誘(以下、「勧誘行為」という。)を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。



**HENNGE**